

2 社会

1 編集の具体的方針

(1) 各学年の分冊

3・4 年上	3・4-1	1 わたしの住むまち どんなまち 1. 学校のまわりは、どんなようすなの
	3・4-2	2. 市のようすは、どうなっているの
	3・4-3	2 はたらく人とわたしたちの暮らし 1. 店の人は、どんなくふうをしているの 2. 物をつくる人は、どんなくふうをしているの
	3・4-4	3 安全な暮らしを守る仕事 1. 火事から人びとをどう守るの 2. じこやじけんから人びとをどう守るの
3・4 年下	3・4-5	都道府県を調べよう 4 健康な暮らしを守る仕事 1. ごみのゆくえは、どうなっているの 2. 水道の水は、どこからくるの
	3・4-6	5 暮らしの中に伝わる思い 1. 暮らしは、どううつり変わってきたの 2. 受けつがれてきたものには、どんな願いがあるの 3. 地いきは、どのように発てんしてきたの
	3・4-7	6 わたしたちの県のようす 1. 県のようすは、どうなっているの 2. 土地にあわせてくらしは、どんなようすなの
5 年上	5-1	世界の中の日本 1 わたしたちのくらしをささえる食料生産 1. 日本のお米づくりは、どうなっているの
	5-2	2. 日本の水産業は、どうなっているの 3. ふだん食べている食料は、どこからくるの
	5-3	2 わたしたちのくらしをささえる工業生産 1. いま、どんな自動車が求められているの 2. 日本の工業には、どんな特色があるの
5 年下	5-4	3 わたしたちのくらしと情報 1. 情報は、どのように伝えられるの 2. 情報は、どのように活用するの 4 日本の国土のようす 1. 国土はどのように広がっているの
	5-5	2. 自然に合わせて、人びとはどのようにくらししているの 5 わたしたちのくらしと環境 1. 森林は、なぜ大切なもの 2. 災害から、暮らしはどのように守られているの 3. 環境は、どのように守られているの

6 年上	6 - 1	1 日本の歩み 歴史を調べる手がかり 1. 大昔のくらしは、どんなようすなの 2. 国の政治のしくみは、どう整えられたの
	6 - 2	3. 武士による政治は、どのように進められたの 4. 戦国の世は、どう統一されたの
	6 - 3	5. 「徳川の世」はどんな世の中だったの 6. 新しい国づくりは、どう進められたの
	6 - 4	7. 戦争は、人びとのくらしをどう変えたの 8. 平和な世界を目ざし、どう歩んでいるの 世界文化遺産 近代化遺産
6 年下	6 - 5	2 わたしたちのくらしと政治 1. 政治って、何だろう 2. 日本国憲法には、どんな特色があるの
	6 - 6	3 世界の人びととわたしたち 1. 世界には、どんな人びとのくらしが見られるの 2. 平和を守るために、どんな努力をしているの

(2) 各分冊の構成と順序

①各分冊の基本的な構成と順序は次のとおりとする。

<ul style="list-style-type: none"> ・表紙 ・目次 ・（※1巻のみ）この教科書を使うみなさんへ ・本文等 ・巻末資料：学び方教室、ひろげようふかめよう、地図、年表等 ・奥付

②各学年の第1巻の目次には、他の分冊の大単元名と中単元名も記す。

③『この教科書を使うみなさんへ』については、資料のとおり修正し、各学年の第1巻の目次の後に掲載する。

④『学び方教室』『ひろげようふかめよう』については原典での配置を変更して巻末にまとめる。汎用性のある地図についても巻末にまとめることがあるが、5-1については学習順序を考慮して巻頭に配置する。なお、この他にも学習の流れを考慮して原典の順序を変更している箇所がある。

(3) レイアウト

全体に関わるレイアウトについては原則として次のとおりとする。

①大単元の題名を9マス目から記す。番号の後2マスあける。番号には記号を付さない。

②中単元の題名を7マス目から記す。番号は1. 2. …のようにピリオドをつける。

③小単元の題名を5マス目から記す。原典では番号が付されていないが、検索性を高めるため(1)(2)…のように第1カッコで数字を括って番号を付す。

- ④大単元の最初については、原則として、ねこのマーク、写真の順に配置する（6年上を除く）。
ねこのマークについては、3マス目から（ねこ）と記し、その後2マスあけて発話内容を第1カギで囲む。前後を1行あける。
- ⑤中単元の『学習問題』については、5マス目から**学習問題**と記し、次の行からその内容を記す。前を1行あけ、後ろは終止線とする。
- ⑥中単元の最後にある『まとめのことば』については、5マス目から**まとめのことば**と記し、次の行からその内容を記す。前後を1行あける。
- ⑦小単元の最初にある『ねらい』については、5マス目から**ねらい**と記し、次の行からその内容を記す。前後を1行あける。
- ⑧ハートのマークについては、5マス目から「**ハート**」と記し、次の行からその内容を記す。前後を1行あける。
- ⑨本文と明確に区別すべきもの（表、グラフ、地図、はっけんカード、コラム、資料、ことばのまど、まとめかたの例、絵、写真等）はすべて枠囲みする。掲載の順序については、学習の流れ、内容の関連性、児童の読みやすさを考慮して配置する。
- ⑩枠囲みを使用する場合は、最初の枠線の5マス目から属性の名称（例：表）を記し、題名がある場合は次の行の7マス目から記す。ただし、写真や絵の場合は3マス目からとする。属性が明確でないものは枠線のみとし、題名を次の行の5マス目から記す。
- ⑪『ことばのまど』については、枠線の次の行の3マス目から用語を記し、枠線の後にその説明を記す。
- ⑫本文中の会話部分及び吹き出しの箇所については、まとまりごとに前後を1行あける。3マス目から会話者の名前を記し、その後2マスあけて発言内容を第1カギで囲む。
- ⑬「・○○○」等の箇条書きについては、「1. ○○○、2. ○○○、3. …」のようにピリオドを付けて番号を付す。下位項目がある場合は「ア. ○○○、イ. ○○○、ウ. …」とする。
- ⑭小単元の終わりに終止線（②の点）を入れる。
- ⑮巻末に配置した『学び方教室』の枠線は「レの字」で表し、枠線の5マス目から**学び方教室**と記し、本編との区別を明確にする。題名は「1. ○○○」「2. ○○○」…とピリオドを付けて番号を付し、7マス目から記す。原典の文中の「①○○○、②○○○、③…」については、「(1)○○○、(2)○○○、(3)…」のように第1カッコで数字を括って番号を付す。
- ⑯巻末に配置した『ひろげようふかめよう』の枠線も「レの字」で表し、枠線の5マス目から**ひろげようふかめよう**と記す。題名を7マス目から記す。
- ⑰目次や巻末資料の終わりに終止線（②⑤の点）を入れる。
- ⑱原典のおおよそのページについては、ページ行に「メの字」で挟んで左側に挿入する。

（4）位置を示す表現

- ①「上（下）の～」や「右（左）の～」という原典の紙面上での位置を示す表現は、「○○ページの～」または「次の～」などのように点字教科書中の位置に合わせた表現に修正する。
- ②原典において位置を示す表現がない場合でも、点字教科書中で図やグラフ等の参照ページを書き加えることが効果的な場合は本文に追加する。
- ③特定の用語を参照するために、原典の本文中で用語の下に書かれている（→○○ページ）については削除する。
- ④『学び方教室』については、本文中の関係する箇所に題名と該当するページを示す。この場

合、第1星印を用いる。

(5) 写真の取扱い

- ①原典にある写真については、タイトルのみでもできる限り掲載することを原則とする。写真の説明文がある場合は、小見出し符(⑥・③⑥の点)の後に記す。
- ②写真のタイトルや説明文を可能な限り生かして点字化する。ただし、原典の表現では不足する視覚的情報等を補うために、適宜表現を修正することがある。
- ③原典に写真のタイトルがない場合は、適宜タイトルを付ける。
- ④写真の説明文が原典にない場合、必要に応じて新たな説明文を追加することがある。
- ⑤写真が複数ある場合は、「1. ○○○、2. ○○○、3. …」のようにピリオドを付けて番号を付す。
- ⑥原典の表紙にある写真については削除する。

(6) 絵の取扱い

- ①原典にある絵については、基本的に削除する。ただし、単元の学習を進める上で参考になるものについては、絵のタイトルを記し、小見出し符(⑥・③⑥の点)の後に絵の説明文を記す。
- ②絵のタイトルや説明文を可能な限り生かして点字化する。ただし、原典の表現では不足する視覚的情報等を補うために、適宜表現を修正することがある。
- ③絵のタイトルがない原典に場合は、適宜タイトルを付ける。
- ④絵の説明文が原典にない場合、必要に応じて新たな説明文を追加することがある。
- ⑤絵が複数ある場合は、「1. ○○○、2. ○○○、3. …」のようにピリオドを付けて番号を付す。

(7) グラフの取扱い

- ①原典にあるグラフについては、点図化、数表化、数表と点図の併記、文章化の処理を行うか、削除する。
- ②点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③原則としてグラフの説明や凡例を先に記し、次にグラフを示す。グラフの説明や凡例のみを枠囲みする。
- ④グラフの説明や凡例を左ページに、グラフを右ページに配置し、できるだけ見開きとなるようにする。
- ⑤紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にしてグラフを掲載することがある。その場合、ページの左上に「横書き」と記す。
- ⑥棒グラフでは、原典では縦棒になっているものを点図では横棒にするなどの修正を行う場合がある。
- ⑦グラフ中の項目はできるだけ省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑧グラフの数値の読み取りを容易にするための目盛り線を凹点で表す。
- ⑨グラフを数表化する場合、枠囲みに記す属性を表に修正する。同様に、数表と点図を併記する場合、枠囲みに示す属性を表・グラフのようにする。

⑩グラフを削除する場合は、削除した旨を「2. 編集の具体的内容」に明記する。

(8) 地図の取扱い

- ①原典にある地図は、点図またはサーモフォームによる触図化、数表化、文章化の処理を行うか、削除する。
- ②点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③地形の高低差を表す必要がある場合は、サーモフォームによる触図化を行う。
- ④原則として図の説明や凡例を先に記述し、次に地図を示す。図の説明や凡例のみを枠囲みする。
- ⑤図の説明と地図ができるだけ見開きとなるようにする。
- ⑥紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にして地図を掲載することがある。その場合、ページの左上に「横書き」と記す。
- ⑦地図の範囲を表す枠線を、すべての地図に付ける。
- ⑧地図中の地名等はできるだけ省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑨陸地と海の区別を容易にするため、地図中の海を原則として凹点で表す。
- ⑩地図中の縮尺表示は、地図の意図する位置関係に主眼を置くため省略する。
- ⑪単元冒頭の県や国等の地図は、まとめて1ページに編集し、巻末に掲載することがある。この場合、本文中の該当個所に「地図は〇〇ページ」等の注意書きを挿入する。
- ⑫点図化する際の技術的な限界や、触覚的理解の困難さを考慮し、図の簡略化やデフォルメを行う場合がある。

(9) 図の取扱い


- ①原典にある図は、点図による触図化、数表化、文章化の処理を行うか、削除する。
- ②点図にするかどうかの判断は、触察上の分かりやすさ、内容の理解のしやすさ、全体的な点図の枚数等を総合的に考慮して行う。
- ③図の説明や凡例がある場合は、原則として先に説明や凡例を記述し、次に図を示す。その際、図の説明や凡例のみを枠囲みする。簡易な図の場合は、説明や凡例がないこともある。
- ④説明と図ができるだけ見開きとなるようにする。
- ⑤紙面の限界から、ページを縦長ではなく横長にして図を掲載することがある。その場合、ページの左上に「横書き」と記す。
- ⑥図の範囲を表す枠線を必要に応じて付ける。
- ⑦図中の名称等はできるだけ省略しないことを原則とする。省略する場合は連想しやすい表記とし、正式な名称を凡例で示す。
- ⑧点図化する際の技術的な限界や、触覚的理解の困難さを考慮し、図の簡略化やデフォルメを行う場合がある。

(10) 「2. 編集の具体的内容」の備考欄における記載事項

- ①触覚による把握：触覚によって理解することが可能なグラフ、地図、図は、点図やサーモフォームによる図を掲載する。
- ②理解のしやすさ：点図化が困難なため削除した写真、絵、図、グラフは、児童の理解を促す

ため文章化して掲載する。

- ③指導者による補足：写真、絵、図、グラフを削除した場合は、児童の実態を配慮した上で必要に応じて指導者による補足説明を授業の中で行う。

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
3・4 上	表紙	写真	削除	表紙の写真を削除した。	指導者による補足
	見開き	目次 絵	修正 削除	小単元に番号を付けて、目次に挿入した。目次の後に、「この教科書を使うみなさんへ」を配置した。絵は削除した。	理解のしやすさ
	学び方 教室		修正	本文中にタイトルは示すが、その内容については、まとめて巻末に示した。	理解のしやすさ
	2～4	絵	削除 追加	絵は削除し、「みなさんとさとるさんが飛行機に乗ってまちの様子をながめています。」という説明を追加した。	指導者による補足
		吹き出し	修正	さとるの吹き出しを「はたらく人はどんなところにいるかな。」に修正した。	指導者による補足 (指導者は児童の経験から発表できるようにするなど配慮する。)
	10, 11	地図	修正	「金沢市のいち」の2枚の地図のうち、石川県の地図を削除し、日本地図1枚の中に金沢市の位置を示し、巻末に掲載した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		写真	削除 追加	「学校の屋上から見えるけしき」及び「学校の東西南北」の写真を削除し、説明を次のように追加した。 「学校の屋上から見えるけしきや、学校の北、東、南、西の写真を見ながら、みんなが発表しています。」	理解のしやすさ 指導者による補足説明
		図	削除 追加	「方位じしん」の絵を削除し、「視覚障害者用方位磁石」や「音声方位計」の説明文を追加した。	児童が扱いやすいものについて紹介した。
		学び方 教室	削除 修正 追加	学び方教室「方位の調べ方」は、巻末に掲載した。図を削除し、昼頃太陽に向かって立ったときの方位について「前が南、後ろが北」という説明を追加した。	理解のしやすさ
	12, 13	地図	削除	「まさとさんのかいた地図」「みゆさんのかいた地図」を削除した。	教師による補足 (児童にとっては、実際に探検した後で地図を扱う方が分かりやすい。)
図		修正	「しるしのれい」については、本文の文脈に即して、特に児童が分かりやすいものを取り上げ、点図にした。 バスてい 田の多いところ 畑の多いところ 	指導者は、児童が「しるし」として実際に用いる場合は、質感や形の異なるシール等が扱いやすいので配慮する。	
14, 15	地図	削除 追加	「先生がくださった白地図」の地図を削除し、「白地図とは、道や川だけが描かれた地図のことです。先生がくださった白地図には、道路と鉄道と川と私たちの学校だけがかけられていて、その他のものは何もかけられてありません。」という説明を追加した。	白地図を提示する場合は、学習段階を考慮して、できる限り単純化する必要がある。	
	ノート	追加 修正	調べ方の欄に「音を録音する」という項目を追加し、持っていくものの欄に「テープレコーダーまたはICレコーダー」を追加した。えんぴつと消しゴムは「筆記用具」に修正した。注意することの欄に	児童が活用しやすい道具を用いること、触って確認することに配慮する。探検中は両手が自由	

3・4 上				「先生の説明を聞きながらいろいろなものを触って確かめる。」の一文を追加した。	に使えるようにしておく とよい。
	学び方 教室			学び方教室「インタビューのしかた」は、巻末に掲載した。	理解のしやすさ
	写真	削除		「たんけんに出発するようす」の写真を削除した。	指導者による補足説明
	16, 17	地図	修正	「南コースの地図」を道のたどりやすさや建物等の名称の分かりやすさ等に配慮し、点図化した。道や川などを1本線で表し、建物の名称等は省略せずに点字にした。地図中の矢印を削除したため、南コースの順路を文章で説明した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	18, 19	地図	修正	「北コースの地図」を、前述の「南コースの地図」と同じ要領で点図化し、順路を文章化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	20, 21	図	修正	「おもな地図記号」については、さわってわかりやすい記号を取り上げ、「田」「畑」「市役所」「交番」のみ点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
		地図	修正 差し 替え	「地図記号をつかった地図」は、全体の位置関係をとらえられるよう簡略化し、「2つのコースを1枚にまとめた地図」として点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
		学び方 教室	修正 差し 替え	「絵地図のつくりかた」は「地図のつくりかた」とし、内容を次のように差し替えて、巻末に掲載する。 ア. 白地図の上を北にする。 イ. めだつ建物のしるしを決めて、白地図にはる。 ウ. 店や家などの名前の点字シールを作り、白地図にはる。 エ. 分かったことをかく。	指導者による補足 (地図の作り方は、他にも、ボード上にマグネットや積木などを構成したり、レーザーライターで描いたり、ダンボールや厚紙などで工作したりなどの方法も考えられる。)
	22, 23	絵	削除 修正	「発表のようす」の絵は削除した。	指導者による補足 理解のしやすさ
		学び方 教室		学び方教室「発表のしかた」は、巻末に掲載した。「人の顔を見たり」という表現を、「人に顔を向けたら」に修正した。	指導者による補足 理解のしやすさ
	26, 27	地図	修正	「金沢市の地図」は、土地の高さや使われ方をとらえられるよう簡略化し、真空成形器で作成した。土地の高さを3段階で表した。道路や川は省略した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		学び方 教室		学び方教室「メールの送り方」は、巻末に掲載した。	理解のしやすさ
	28, 29	写真	削除	「まさとさんの学校のまわりのようす」の写真を削除した。	指導者による補足説明
		地図	削除	「まさとさんが調べたところ」の地図を削除した。	必要に応じて前述の「金沢市のようす」の地図を活用する。
30, 31	地図	修正	「市のしせつマップ」は、写真に載っている施設の位置のみを示し簡略化し、点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握	
34, 35	写真	削除 修正	「金沢城公園」「けんろく園」の写真は削除するが、名称を「金沢市のみどころ」の中に列記した。	教師による補足 (建物以外のみどころを補う必要がある。)	

3・4 上		写真	削除 追加	「加賀野菜ポスター」の写真削除し、ポスターに描かれている野菜の説明を追加した。	教師による補足 (児童にとって地域の名産品を食べる活動は取り組みやすいので指導の際に配慮する。)
	36	2	修正	まとめ方を、「市のかんたんな地図に説明をつけくわえてまとめてみました。」に修正した。	理解のしやすさ 児童の取り組みやすさ
		地図	削除 修正	「わたしたちの金沢市」の地図を削除し、地図に書き込んである内容を「地図につけくわえたこと」として文章で表した。	児童の取り組みやすさ (児童にとって、音・におい・大きさ等、自分の感覚を使って発見し、それをまとめる活動が、大切である。)
	38, 39	絵	削除 修正	市役所が新しく施設をつくるようすの絵を削除し、絵のタイトル等を使って文章化した。	理解のしやすさ
	42, 43	地図	削除 修正	「買い物に行ったおもな店の地図」は、削除し、次のように文章で表した。 「あきこさんたちが住んでいる地域の白地図に、買い物に行ったお店を書き込みました。その地図に書き込まれたお店は次の通りです。」と前置きして、お店の名前と件数を列記した。	理解のしやすさ(省略できる内容が少ない地図であるため)
		グラフ	修正	「店に買い物に行った回数」のグラフを点図化した。	触覚による把握
		学び方 教室	修正 差し 替え	「ぼうグラフのつくりかた」は「ぼうグラフの読み方・つくりかた」とし、内容を次のように差し替えて、巻末に掲載した。 ア. ぼうグラフの題名を確かめる。 イ. 横軸の項目を確かめる。○ページのグラフの横のじくは、行った店の種類を表す。 ウ. 縦軸の目盛りと単位を確かめる。○ページのグラフたてのじくは、買い物に行った回数を表し、単位は「回」である。 エ. それぞれの棒の長さ確かめ、目盛りを読み取ったり長さを比べたりする。 オ. ぼうグラフをつくる時は、ぼうの長さをシールやマグネットなどで表す方法もある。	理解のしやすさ 触覚による把握 教師による補足 (棒グラフの作成については、児童の負担の少ない方法で取り組めるとよい。グラフの読み方については、算数の学習とも関連させながら、グラフを丁寧に触る経験を積めるようにしたい。これ以降の社会の学習においても、なるべく簡易なグラフを精選して掲載している。)
	45～46	絵	修正	「スーパーの中のようす」の絵を単純化して点図化し、図に表せない内容は文章化した。	触覚による把握
	47	絵	修正	「見学のやくそく」の3番目の内容を、「売っている品物には、先生のせつめいを聞いていていねいにさわる」に修正した。	指導者は、児童が触って確かめる活動を十分保障する。
	50, 51	写真	削除 追加	「大売り出しのチラシ」の写真削除し、「チラシにはどんなことが書いてあるのでしょうか。チラシはどんなふうに配られているのでしょうか。」という文章を追加した。	チラシの書かれていることを家の人に聞いて調べるなどの活動も考えられる。
	絵	削除 追加	「安全に気をつけた野菜」の絵を削除し、「有機農産物の売り場には、『今日の生産者 ○○県○○市○○さん』と書かれたカードがありました。」の一文を追加した。	指導者による補足	

3・4 上	54, 55	写真	削除 追加	「地元でとれた野菜」「産地が書かれた野菜やくだもの」「外国でとれたくだもの」の写真削除し、書かれてある産地についての説明文を追加した。	指導者による補足
		地図	削除 修正	「日本の各地から来る野菜やくだもの地図」及び「世界の各地から来る野菜やくだもの地図」は、削除し、産地と品名を列記した表に修正した。	理解のしやすさ 出版社の回答により変更あり
	56, 57	学び方 教室		学び方教室「まとめ文の書き方」は、巻末に掲載した。	
	64, 65	表	削除 修正	「いちごのとれる時期」の表を削除し、文章での表記に修正した。	理解のしやすさ
	66	写真 図	削除 修正 追加	本文の後の写真及び図は削除し、文章化した。その際、④の集荷場の説明として、「集荷場では、いろいろな農家からいちごを集めています。」の一文を追加した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	67	図	修正	「いちごのゆくえ」の図は、単純化して点図化した。	理解のしやすさ
		写真	削除	「いちごをのせたトラック」の写真を削除した。	指導者による補足
	68	写真	削除	「いちごがりのようす」の写真を削除した。	指導者による補足
	71	ノート	修正	「見学するときのやくそく」の2番目の内容を、「機械などをさわるときには、先生のせつめいを聞いていていねいにさわる」に修正した。	触って確かめる活動を十分保障するため。
		写真	削除	「おかしをつくっている工場」の写真を削除した。	指導者による補足
3・4 上	72, 73	写真	削除	写真を削除した。	指導者による補足
	74, 75	写真	削除 追加	「ちょぞう庫」「トラックにせい品をつみこむ」の写真を削除し、写真の様子について文章を追加した。	指導者による補足
		地図	削除 修正	「工場で作られるじゃがいもがとれるところ」の地図を削除し、じゃがいもがとれるところの都道府県名を列記した。	理解のしやすさ
	76	絵	削除 修正	「服そうの決まり」の絵を、体の部位と服そうの決まりを対応させた表に修正した。	理解のしやすさ
	77	写真	削除 追加	「30年前のせい品」の写真を削除し、「お菓子のふくろのデザインは、今のものとちがっています。」という説明を追加した。	指導者による補足
		グラフ	削除 修正	「工場ではたらく人」のグラフを点図化した。	触覚による把握
	78, 79	学び方 教室		学び方教室「新聞のつくり方」は、巻末に掲載した。	
	82, 83	地図	削除 修正	「館山市のいち」は、千葉県地図を削除し、日本地図1枚の中に館山市の位置を示し、巻末に掲載した。	触覚による理解 理解のしやすさ
		写真	削除	「消火活動のようす」「ひなん訓練のようす」の写真を削除した。	指導者による補足
		グラフ	修正	「1年間におきた火事の数」のグラフを点図化した。	触覚による把握
			削除 修正	「火事で、けがをした人となくなった人の数」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	85	写真	削除	「消ぼうしょを見学するゆうじさんたち」の写真を削除した。	指導者による補足
		学び方	追加	学び方教室「見学のしかた」は、ICレコーダー	児童が活用しやすい道具

3・4 上		教室		を活用することについて追加し、巻末に掲載した。	であるため。
	86	図	修正 追加	「安房地区の消ぼう本部、消しょのあるところ」を単純化し点図化し、地図中に表せない内容については説明を追加した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		写真	削除	「消ぼう本部のようす」の写真を削除した。	指導者による補足
	87	図	削除 修正	「119 番の電話があったときのれんらくのしくみ」の図を削除し、その内容を文章化した。	理解のしやすさ
	88, 89	図	削除 修正	「119 番があつてから消ぼう自動車が出場するまで」の図を削除し、その内容を文章化した。	理解のしやすさ
		図	削除 修正	「学校で火事がおきたときの消ぼうの計画」の図を削除し、その内容を文章化した。	理解のしやすさ
		写真	削除 修正	「消ぼう服を着てみたよ」の写真を削除し、本文中の9行目に続いて「実際に消防服を着てみました。」の一文を追加した。	指導者による補足
	91	写真	削除	「救急車の中のようす」の写真を削除した。	指導者による補足
	93	写真	削除 追加	「学校のまわりの消ぼうせつび」の写真を削除し、それぞれの標識の内容を文章化した。	指導者による補足
		図	削除	「遠くから水を引くしくみ」の図を削除した。	指導者による補足
	95	グラフ	削除 修正	「火事の原いん」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	96	写真	削除 修正	「ひじょう持ち出しぶくろ」の写真を削除し、中に入っているものの名前を列記した。	指導者による補足
	99	絵	削除 追加	ポスターの絵を削除し、本文中に「『燃えるぞかれ草やっちゃだめ』と火遊びをふせぐポスターや、『わすれないでおかあさん』とガスコンロの消しわすれを防ぐポスターができました。」の一文を追加した。	指導者は、ポスター作りの活動では、児童が文字の部分を書き点字で書くなど、参加できるように配慮する。
		学び方 教室		学び方教室「ひょうごのつくり方」は、巻末に掲載した。	
	100	地図	修正	「豊中市のいち」は、大阪府の地図を削除し、日本地図1枚の中に豊中市の位置を示し、巻末に掲載した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		写真	削除 追加	「交通じこのようす」の写真を削除し、本文2つめの文中でトラックの事故であることを追加した。	指導者による補足説明
	101	グラフ	削除 修正	「1年間におきた交通じこの数」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	103	写真	削除 追加	「けいさつのパンフレット」の写真を削除し、パンフレットの名称を列記した。	指導者による補足
		学び方 教室		学び方教室「電話取ざいのしかた」は、巻末に掲載した。	
	105	図	削除 修正	「110 番があったときのれんらくのしくみ」「外国語の110 番のしくみ」の図を削除し、文章化した。	理解のしやすさ
106	図	修正	「豊中市のけいさつしょと交番のいち」は、道路を省略するなど単純化し点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ	
108	写真	削除	「交通安全教室のようす」の写真を削除した。	指導者による補足	
	グラフ	修正	「交通じこの原いん」のグラフを点図化した。	触覚による把握	
110 111	写真	削除	「登校のようす」「こども110番の家」「歩車ぶんり信号」の写真を削除した。	指導者による補足	

3・4 上	111	図	削除	「歩車ぶんり信号のしくみ」の図を削除した。	指導者による補足 (必要に応じて模型等を操作して確認する。)
	113	本文	修正	地図にまとめる活動は、「地図に説明文をつけ加えてまとめる」という表現にした。	指導者は、児童が取り組みやすい活動を設定する必要がある。
		写真	削除	「できあがった地図」の写真を削除した。	指導者による補足
	114	14	修正 削除	「左の絵のようなもの」の部分を「そうなん船の救助、じこにあった人の救助、あやしい船のとりしまりなど」に書き換え、絵については削除した。	理解のしやすさ 教師による補足
		図	削除 修正	「118番による連らくのしくみ」の図を削除し、その内容を文章化した。	理解のしやすさ
	115	写真	削除	「山での救助活動」「訓練のようす」の写真を削除した。	指導者による補足

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
3・4 下	2. 3	地図	修正	<p>先生 文章修正「この後の地図は、日本列島と各県を示しています」</p> <p>さとり 文章修正 「これから、教科書に日本地図が出てきたら、都道府県名とその位置を確認してみよう」</p> <p>日本地図，都道府県名に番号を振る。</p> <p>日本全図には，地方区分ごとに番号を入れたものが1枚。地方区分ごとの地図を8枚掲載。</p> <p>チャレンジ3 両設問とも「上の白地図に色をつけましょう」を削除。</p>	<p>理解のしやすさ</p> <p>触覚による把握</p> <p>児童が回答しやすいようにした。</p>
	5	資料	削除修正	<p>都道府県のマークは削除。</p> <p>「日本の都道府県」は，表形式とする。</p>	指導者による補足
	6. 7	学び方 教室	削除修正 追加	<p>「地図帳の使い方」</p> <p>かな → たろう → みな → さとり の順にセリフを書いた。</p> <p>小金井を探す手順についての記述を削除し，触地図を触るときの手順についての記述を追加した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地図をさわろう</p> <p>順番に，次のことを確認していきましょう。</p> <p>はじめは先生といっしょに確認し，できたら自分一人でも練習してみましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 題名を読み，どんな地図かをしらべます。題名は地図の左上に書いてあるので，地図の向きもいっしょに調べます。 2. 地図の外側の枠をさわって，全体の大きさと範囲をしらべます。 3. 触り始める場所を決めます。 4. 触り始める場所から，地図の線を一周まわって，どんな形をしているかをしらべます。 <p>そのとき，形にどんな特徴があったかを，先生や友だちと話してみましょう。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 調べる場所を決め，その位置をしらべます。 6. 触り始める場所と調べる場所を行ったり来たりして，間違えずに往復できる行き方にはどうしたらいいかを考えてみます。 7. 調べる場所には，どのような点や模様がかかっているかしらべ，わかったことを先生やともだちとはなしてみます。 8. わからない記号やことば，模様があったら，左のページや上のページにある，使い方の説明（凡例）を読んでみましょう。 9. 地図だけでわかりにくいことは，統計資料も使ってみましょう。 <p>「地図帳には，さくいんのほかにどんな資料がのっているでしょう。」を削除し，「墨字の地図帳には，さくいんや，日本の主な山の高さ，日本のいろいろな場所に気温や降水量（雨や雪の量）など，いろいろな資料がのっています。」を追加した。</p> <p>「チャレンジ この使い方を参考にして，東京都の位置を調べてみましょう。」を追加した。</p> </div>	理解のしやすさ

3・4 下	8, 9	写真	削除 修正	写真 ダムの写真は削除。 先生のセリフを「ダムの写真があります。」に修正。	指導者による補足
	10	グラフ	修正	佐賀市の種類ごとのごみの量は棒グラフにする。 資源ごみは、数表とした。	触覚による把握 理解のしやすさ
	11	絵	削除 修正	毎日のくらしから出るごみ：絵は削除し箇条書きで ごみの種類をのせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 1. ペットボトル 2. 空き缶 3. 空きびん 4. 新聞 5. 段ボール 6. 使えなくなったテレビ, ラジカセ, けい光管 7. ご飯の食べ残し, 料理くず 8. 割れた皿や欠けた包丁 9. 小さくなったり, いたんだりした服 10. 使えなくなったおもちゃ, 乾電池 11. シャンプーなどの空になった容器 12. 落ち葉など </div>	指導者による補足 理解のしやすさ
	13	調べ 方	修正 削除 追加	調べること, 調べ方は対比させて表す。調べ方の 空欄は, 空欄1, 空欄2とする。 「ゴミステーションのようす」の写真は削除し, 「家の近くのゴミステーションに行ってみましょ う。」の言葉を追加。 市のパンフレットの写真は削除し, 「佐賀市清掃 工場, 佐賀市エコプラザ, 佐賀市リサイクル工場」 と, パンフレットのタイトルをのせた。	理解のしやすさ 理解のしやすさ
	14	表	削除 修正	ごみの分別表は, タイトルのみとする。 ごみカレンダーは, 削除。	理解のしやすさ 指導者による補足
	15	写真	削除 追加	「ごみ出しの注意」の写真は削除し, 看板に書か れている内容を追加した。	理解のしやすさ パッカー車などの車の形 については, 模型等を準 備して大まかな形をつか めるようにする。実際の 車の音や, 作業の臭い, 働く人のようすなどを, 家庭や, 学校の近くのご み回収の時に体験でき るとよい。
	16, 17	図 写真	修正 削除	「集められたごみのゆくえ」は文章化。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 1. 燃えるごみ, 粗大ごみ(もえる物)は清掃工場 に運ばれます。燃やした灰を加工したもの(スラ グ)は, 道路の材料などに再利用し, スラグにでき ないものは最終処分場に運ばれます。 2. 燃えないごみ, 粗大ごみ(燃えない物), 資 源(紙・布など), 有害ごみは, リサイクル工場に運ば れます。リサイクルできないものは最終処分場に運 ばれ, リサイクルできるものは, リサイクルできる ものはリサイクル業者に運ばれます。 3. 資源ごみは, 資源センターに運ばれ, リサイ クル業者に運ばれます。 </div> 写真 清掃工場の見学のようなは, 削除。 写真 佐賀市清掃工場は, 削除。	理解のしやすさ 指導者による補足

3・4 下	18, 19	絵	削除 追加	<p>「集めたごみをもやすしくみ」は、絵は削除して文章化。</p> <p>トラックで集められてきたごみは、次のような仕組みで処理されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プラットホーム（集めてきたごみを、重さを計ったあと、ごみピットにおろします。） 2. ごみピット（たくさんのごみが蓄えられています。） *クレーンの操縦室　ごみクレーンを操縦しています。ごみクレーンは、1回で1トンのごみを運ぶことができます。 3. 焼却炉（850度以上の高温でもやすので、ダイオキシンなどの、害のあるガスがでにくくなります。） 4. 中央制御室（清掃工場の機械を動かします。安全に機械が動くように、コントロールしています。） 5. 蒸気タービン発電機（排ガスの熱で蒸気をつくり、発電機を回す。） 6. 灰溶融炉（発電した電気を利用して灰を溶かし、資源化する。） 7. 排ガス処理（排ガスの中の有害なものをとりのぞく。） 8. 煙突 	理解のしやすさ
		写真	削除	写真　内容はすべて文章の中に入れ込んだので削除。	指導者による補足
	絵	削除 追加	<p>「ごみの処理にかかる費用（佐賀市調べ）」絵を削除し文章化した。</p> <p>1年間のごみを処理する費用（約30億円で、小学校の体育館をつくるとすると、およそ7こもつることができます。）</p>	理解のしやすさ	
20, 21	絵	削除 追加	<p>「もえないごみの処理のしくみ」は、文章化。</p> <p>もえないごみ→人の手で、アルミ、鉄、資源物などに分けます。→分けられたアルミと鉄を、機械でつぶします。→トラックで運び、アルミ製品、鉄製品につくり変えられます（リサイクル）。</p> <p>「分別できない大きなごみを処理するしくみ」は文章化。</p> <p>分別できない大きなごみ→破砕機（高速で回転するハンマーで、細かくくだきます。）→機械による分別、じせん機（強力な磁石を使って、ごみの中から、鉄を集めます。ほかにも、いろいろな機械で、ごみを分別します。）→燃える物は清掃工場へ、燃えない物は最終処分場へ、リサイクルできる物はリサイクル業者へ、トラックではこぼれます。</p>	理解のしやすさ	
		写真	削除 追加	写真　自転車の写真は削除し、「粗大ごみとして出された <u>たくさん</u> の自転車」とした。	
22, 23	地図	修正	「佐賀市のおもなごみ処理しせつ」は、主なものをのせて点図化。市役所は「駅前に市役所があります。」とし、地図の外に表す。地図中にグリーンセンター、清掃センター、資源化センター、最終処分場、高速道路、JR線、佐賀駅を入れた。	触覚による把握	

3・4 下	24, 25	資料	修正	<p>「リサイクルのながれ」</p> <p>ア ビン→カレット（びんをくぐいでできる原料）→再生びんなど</p> <p>イ 缶（アルミ・スチール）→再生地金・スラブ（溶かして、つくり直したもの）→アルミ・鉄製品や再生かんなど</p> <p>ウ ペットボトル→ペレット（細かくくぐいでできる原料）→服やバックなど</p>	理解のしやすさ
		写真	削除	写真 回収ボックスは、削除。	指導者による補足
	26, 27	資料	修正 削除	<p>「ごみ減量大作戦」は枠の中に入れる。絵は、削除。</p> <p>1. リデュース（無駄を出さないで、ごみをへらすこと。）</p> <p>ア. ご飯を残さず食べる。</p> <p>イ. 鉛筆やノートなどは最後まで使う。</p> <p>2. リユース（ものを、何度もくり返し使うこと。）</p> <p>ア. こわれても、修理して使う。</p> <p>イ. フリーマーケットを利用する。</p> <p>3. リサイクル（ものを原料として利用して、新しいものにつくりかえること。）</p> <p>ア. 新聞紙や段ボールなどは、資源ごみの回収に出す。</p> <p>イ. ペットボトルや缶、びんは中を洗い、決められたとおりに出す。</p>	理解のしやすさ
	28, 29	新聞	修正	<p>リサイクル新聞は、書いてある項目を表す。</p> <p>1. ペットボトルのリサイクル</p> <p>2. 3つR</p> <p>3. 再生品になるまで、社説、スクープ</p>	新聞の内容は、児童同士や指導者がイメージしやすいように説明するとよい。
30, 31	グラフ	修正	<p>「家庭での電気の使われかた」「家庭での電気の使用量のうつり変わり」のグラフを点図化した。</p>	触覚による把握 グラフの触り方、読み取り方など、丁寧に指導して、読み取ることができるようにし、意欲へとなげたい。発電量の単位が億kwhなので、簡単にそういう単位があることに触れる。	
	図	削除	「電気がつくられ、送られてくるまで」は、表に修正。	理解のしやすさ	
	グラフ	修正	「発電方法別の発電量の移り変わり」は削除し、数表とした。	理解のしやすさ	
32, 33	絵	削除 修正	<p>「学校で水道が使われているところ」の絵は、削除し、文章化。</p> <p>手洗い場、花壇の水やり、プール、トイレ</p>	理解のしやすさ	
	グラフ		「さとこさんの学校の水道の使用量」は、数表化した。	理解のしやすさ	
	資料		「水道の使用量のお知らせ」は削除。	指導者による補足	
	グラフ		「守口市の一日に使われる水の量と人口の移り変	理解のしやすさ	

3・4 下	図		<p>わり」は、「守口市の人口」と「一日に使われた水の量」を並べて表し、数表化した。</p> <p>図「1立方メートル」は削除し、次の説明を追加した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1立方メートル (m³) は、縦・横・高さが1 mの立方体に入る水のかさで1 0 0 0 l です。学校の2 5メートルプールは、およそ2 4 0立方メートルの水が入ります。</p> </div>	理解のしやすさ		
	34, 35	調べ方	追加	<p>空欄のところは、調べ方を具体的に記載した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>地域の副読本や地図、図書館の本を使って調べる。浄水場を見学して、係の人に話を聞く。市の係の人に質問する。</p> </div>	理解のしやすさ	
		写真	削除	修正	<p>大阪府水道部のポスターの写真を削除し、ポスターに書かれている「めっちゃ おいしいやん！ おおさかの水」を追加した。</p>	理解のしやすさ
	36, 37	図 絵	修正 修正	<p>「水が届くまで」は、点図化。</p> <p>「水のじゅんかん」は文章化。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>雨や雪がふり、水がダムや川に流れこみ、やがてその水は海に流れこみます。また、地下にすいこまれた水は、地下水となって、海に流れたりします。ふった水がじょう水場から、私たちの学校で使われ、下水しよ理場を通過して、海に流れこみます。そして、たくさんの水が、水じょう気となってまた、雲になり雨になって、空、陸地、海をまわっているのを、水のじゅんかんといいます。</p> </div>	触覚による把握 理解のしやすさ	
		写真	削除	<p>学校の水道、琵琶湖、淀川の写真は削除。</p>	指導者による補足	
38, 39	地図	修正	<p>「琵琶湖から流れる川のように」は点図化し、説明を「琵琶湖から流れ出る水が、瀬田川、宇治川とし、桂川、木津川と合流して、淀川となり大阪湾に流れ込んでいます。」と修正した。</p>	触覚による把握 理解のしやすさ		
	写真	削除	<p>写真 汚れた琵琶湖は本文中にあるので削除。</p> <p>写真 琵琶湖をきれいにする活動も本文中にあるので削除。</p>	指導者による補足		
40, 41	写真	削除	<p>写真 見学をするさところさんたちは、削除。</p> <p>写真 庭窪じょう水場は、削除。</p> <p>写真 ちんさ池は、図にあるので削除</p> <p>(写真 ろ過の実験のようす、中央管理室は、文中に言葉がないので掲載した。)</p>	指導者による補足		
	図	修正	<p>「おもなじょう水場のしくみ」は、文章化した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>おもなじょう水場のしくみ (しくみは、じょう水場によってちががあります。)</p> <p>川から水を取り入れます→取水口 (あみなどで大きなごみを取りのぞきます) →ちんさ池 (水の中の小石やすなをしずめます) →ちんでん池 (薬品を入れ、さらに小さなごみをかためてしずめます) →ろ過池 (び生物のはたらきを利用するなどして、水をきれいにします) →オゾンせつしよく池など (いろいろな方法で、においやばいきんをとります) →じょう水池 (飲めるようになった水をためます) →配水タンク (ポンプを使って、水を送ります) →ポンプ</p> </div>	理解のしやすさ		

3・4 下	42, 43	写真	追加 削除	写真 水道管点検のようすの説明を「 <u>機械を使っ</u> <u>て</u> , 地面の下の音を調べます。」とした。 写真 水のけんさは, 削除。	理解のしやすさ 指導者による補足
	44, 45	写真 絵	削除 削除	写真 守口市の下水しよ理場は, 削除。 写真 下水道管のようすは, 削除。 水の行方の絵は, 本文中に説明があるので削除。	指導者による補足 指導者による補足
	47	4 学び方 教室	修正	絵と文で「水てきの旅日記」として絵をかいて, 紙芝居のようにまとめてみました。 分たんした場面に, 絵と文でかく。	児童の取り組みやすい活 動を加えた。
	48, 49	地図 写真	修正 削除 削除	高槻市の位置の地図を簡略化して点図化した。 鶴殿の位置の地図は, 削除。 写真 鶴殿のようすは, 削除。	触覚による把握 指導者による補足
	53	写真	削除	写真 歴史民ぞく資料館は, 削除。 写真 資料館の見学のようすは, 削除。	指導者による補足
	54, 55	写真	削除	写真 昔のせんたく体験は, 削除。 写真 学芸員の人に話をうかがうは, 削除。	指導者による補足
	56	写真 絵	削除 追加	写真や絵を見て予想するところは, 写真や絵は削 除し, 写真に写っている道具の名称を追加した。	理解のしやすさ
	60, 61	絵	削除 追加	「工藤さんが子どものころのようす」の絵は削除 して文章化した。 かまど, なべ, かま, 火ふき竹, おひつ, 水がめ, たき木, 七輪などを, 使っていました。 「お母さんが子どものころのようす」の絵は削除 して文章化した。 冷ぞう庫, トースター, 電気すい飯器, 給湯器, ガ スコンロなどを, 使っていました。	理解のしやすさ
	62, 63	写真	削除	写真 昔のようすの話を聞くまいさんたちは, 削 除。 写真 民具くよう館は削除。	指導者による補足
	64, 65	年表 学び方 教室	修正	<u>年表</u> をつくろうに修正した。 学び方教室も同様に, <u>年表</u> のつくりかたに修正 し, 最後に「絵年表という絵を入れた年表もありま す。」と追加した。	点字で作しやすいように した。
	66, 67	地図 写真	修正 削除	長崎市の位置の地図を簡略化して点図化した。 写真 長崎くんちのようすは, 削除。 写真 学校の近くの古い建物は, 削除。 写真 グラバー園の中にある建物は, 削除。	触覚による把握 指導者による補足
	70, 71	絵 地図 表	削除 追加 削除 修正	ガイドブックの絵は削除し, ガイドブックのタイ トルを掲載した。 ながさき食べ歩きガイド 歴史とロマンの街「長崎」 長崎さるく「ながさき」を歩こう 「行事がおこなわれるおもな場所」は, 削除。 「長崎市で行われているおもな行事」は, 上述の 地図と対応する番号を省き, 1月から10月までを 掲載した。	理解のしやすさ 指導者による補足 理解のしやすさ
	72, 73	写真 絵	削除 追加	写真 ふだんの諏訪神社は, 削除。 ココロデショは, 絵は削除し, 「太鼓をのせたみ こし」という説明を加えた。	指導者による補足 理解のしやすさ

3・4 下	74, 75	表 写真	修正	<p>「さまざまな年中行事」の表と「みんなで話しあ った、年中行事」の2つをまとめて文章化した。</p> <p>1月 お正月（新しい年のはじまりを祝う行事で す。かどまつや、おもちをかざったりします。）</p> <p>2月 せつぶん（100年以上も前からおこなわ れている、よくないものをはらい、幸せをいのる行 事です。）</p> <p>3月 ひなまつり、おひがん（おひがんのおはか まいりは、春分・秋分の日と、それぞれの前後3日 間をあわせた7日間のことをおひがんといいます。 このころに、おはかまいりをするしゅうかんがあり ます。）</p> <p>5月 たんごのせつく</p> <p>7月 たなばた（天の川をはさんでわかれてい る、おりひめとひこ星をまつる行事で、100年以上 前から続いています。ささに、かざりや願いごとを 書いたたんざくを結びつけて、いのります。8月に おこなう地域もあります。）</p> <p>8月 おぼん</p> <p>9月 お月見・おひがん</p> <p>12月 おおみそか（一年で最後の日、12月31日 のことです。一年間のよごれをはらうために、大そ うじをしたり、除夜のかねをついたりするなど、各 地でさまざまな行事がおこなわれます。）</p>	理解のしやすさ
	76, 77	写真	削除	<p>写真 崇福寺は、削除。</p> <p>写真 話を聞くみゆきさんたちは、削除。</p> <p>写真 めがね橋は、削除。</p>	指導者による補足
	78, 79	写真 地図	削除 修正	<p>写真 市内たんけんのようすは、削除。</p> <p>「古い建物やいい伝えを歴史マップにあらわそ う」の地図は点図化し、いい伝えも地図の近くに記 載した。</p>	指導者による補足 触覚による把握
	80, 81	まと め方	修正	<p>「アルバムづくり」を「アルバムや記録を整理し よう」とした。ICレコーダーの記録も扱うことを加 えた。</p>	児童が参加しやすい活動 を設定する。
		学び方 教室	修正	<p>学び方教室の「アルバムのつくりかた」を、同じ ように「アルバムや記録のつくりかた」とした。</p>	
	82	写真	削除	<p>写真 昔話を聞くじゅんさんたちは、削除。</p>	指導者による補足
	84, 85	写真	削除	<p>写真 「昔の那須野原が想像される風景（那須塩 原市）」「いまの那須野原のようす（那須塩原 市）」「砂や石が積もったようす」は削除。</p>	指導者による補足 触覚による把握 指導者による補足
			削除	<p>「ことばのまど」は、漢字の説明なので削除。</p>	
			修正 削除	<p>那須塩原市の位置の地図を簡略化して、点図化し た。</p> <p>地図 那須野原のようすは、地図は削除。説明文 は、「蛇尾川と熊川という二つの川がありますが、 普段は水が流れていません。」のみを掲載し、地図 に関する記述を削除。</p>	
	91	写真	追加	<p>「開たくに使われた道具」の説明として、「く わ、わらじなど」を追加する。</p>	理解のしやすさ

3・4 下	92, 93	写真 地図	削除	写真 いま的那須そ水は、削除。 地図 那須そ水的位置は、削除。	指導者による補足
	94, 95	絵	削除	絵「とうぐわ」「つるはし」「もっこ」「じょれん」は、文章中にもこれらの名称が出てくるので削除。	道具のイメージがしにくいため、指導者が説明したり、本物に触れる機会を作ったりする。 理解のしやすさ
		図 写真	削除 追加 削除	「水路のくふう」の図は削除し、説明文中に石でつくったトンネルについて記載する。 写真 川をくぐってきた水路の出口は、削除。	指導者による補足
	96, 97	グラフ	修正	グラフを数表化。田畑の面積のうつり変わりは、資料として多いので、3年分のみとする。	理解のしやすさ
		写真	削除	写真 深山ダム（那須塩原市）は、削除。	指導者による補足
	99	2 学び方 教室	修正	「紙しばいや物語」に修正。 同じように、学び方教室についても「紙しばいや物語のつくり方」とする。	児童が参加しやすいようにした。
	103	地図	修正	「兵庫県のおもな産物」の地図は点図化せず、産物と市の名前を列記した。	理解のしやすさ
	104 105	地図	削除	「姫路市の位置」の地図は削除。	「兵庫県の地図」を活用する。 触覚による把握
			修正	「兵庫県の地図」は点図化し、本文で大きく取り扱われている4つの市（姫路、神戸、篠山、宍粟）と、淡路、豊岡を地図上に表した。兵庫県の市町一覧を別表として記載した（五十音順）。	
		写真	削除	写真 姫路市の中心部は、削除。	指導者による補足
	106 107	写真	削除	写真「立体地図で県のようなすを調べるひろかずさんたち」「人形しばいの人形」「たまねぎのしゅうかく」「明石海きょうと淡路島」は削除。	指導者による補足
	108 109	学び方 教室	修正 追加	等高線については、平面図と断面図の2つのみ点図化した。線が多く触覚による理解が困難なため、縦線の本数を6本に減らした。また、等高線についての説明がなかったため、説明文を追加した。 等高線の見方	触覚による把握 理解のしやすさ
			修正	1. 等高線は、地図に土地の高さをあらわすために考えられたものです。同じ高さのところを線で結び、それを上から見たものが等高線です。 2. 等高線では、地図上の場所がおよそどのくらいの高さかがわかります。また、等高線の間隔で、急なところか、ゆるやかなところか（傾斜）がわかります。	
			修正	地図記号は、例として4つのみ（市役所、交番、田、畑）を点図化して掲載した。	
修正 削除 追加			縮尺についての内容を修正した。 「姫路市から見た方位」の地図を削除し、日本地図などがノイズにならないよう、8方位のみの図を点図化して掲載した。	理解のしやすさ 触覚による把握	
	削除 修正	コンパスでの距離の測り方は、削除。 「さまざまな地図記号」は、図書館のみを点図化。	指導者による補足 触覚による把握		
110 111	地図	修正	「兵庫県の地形」の地図は、サーモフォームで、土地の高さがわかるものを作成して掲載した。土地は、3段階にし、問いに対応できるようにしてあり、山地も手がかりとなる。	触覚による把握	

下		写真	削除	写真「氷ノ山」「播磨平野」「揖保川」は削除。	指導者による補足
	112	地図	修正	「兵庫県の土地利用」の地図を点図化した。果樹園は削除した。問いに対応させている。	触覚による把握
	113	写真	削除	写真「田のようす」「家やビルが多いところのようす」「森林のようす」は削除（3枚）。	指導者による補足
	114	地図	修正	「兵庫県のおもな交通路」の地図を点図化した。JR線、高速道路、飛行場を掲載し、問いに対応させた。地図記号は省いた。	触覚による把握
	115	写真	削除	写真「神戸空港」「神戸港」「姫路駅」「高速道路（中国自動車道）」は削除。	指導者による補足
	117	2 地図	修正 削除	地図を重ね合わせることが難しいので「地図をくらべてみよう」とした。 3枚の地図は再掲なので削除。	これまでの3枚の地図を活用して考えるように変更した。
	118	写真	削除	写真「ハイキング」「焼き物横丁」「人形しばい」「はんかがい」「資料を調べるひろかずさんたち」と地図を削除。	指導者による補足
	119	地図			
	120	地図	削除	白地図は、削除。	児童が回答しやすいようにした。
	121	吹き出し	修正	地図に色を塗る活動を変更し、先生の言葉を「地図で調べてみましょう。」とした。	
	122	地図	削除	「神戸市の位置」の地図は削除。	前述の「兵庫県の地図」を活用する。
	123	資料 地図 写真	修正 削除 追加	「兵庫県と神戸市の人口」は次のように文章化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> 兵庫県 およそ 560 万人 神戸市 およそ 153 万人 </div> 「神戸市とつながるおもな空港や港、新幹線」は、地図は削除し、説明文を追加した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 神戸市には神戸空港があります。神戸空港から、新千歳空港や熊本空港、東京国際（羽田）空港に、飛行機の航空路があります。神戸港からは、オーストラリアや、アメリカ、ロシア、中国への航路があります。また、新幹線（JR線）は、新神戸から岡山、広島、小倉、博多までの新幹線や、新神戸から新大阪や京都、名古屋、東京までの新幹線、東京から長野までの新幹線、東京から仙台、盛岡、八戸までの新幹線などがあります。 </div>	理解のしやすさ 理解のしやすさ
	124	国旗	修正	国旗は点図化し、8枚の旗を1ページに2枚ずつ、国名と、姉妹都市の名前を掲載する。日本の国旗については、「白地に赤丸の」と色について記載した。	触覚による把握
125	写真	削除	写真「外国人が住んだ昔の家」「人と防災未来センター」は削除。	理解のしやすさ 指導者による補足	
126	地図	削除	「篠山市の位置」の地図は削除。	前述の「兵庫県の地図」を活用する。	
127	写真	削除	写真「丹波焼の作品」「陶器祭りの様子」「陶の郷のようす」「焼き物でつくられた、道路のかざり」は削除。	指導者による補足	
128	写真	削除	写真「大上さんの工場」「登りがまの中のような	指導者による補足	

下	129			す」は削除。						
	130	地図	削除	「宍粟市の位置」の地図は削除。	前述の「兵庫県の地図」を活用する。 理解のしやすさ					
		図	修正	「宍粟市の土地利用」については数表化する。 <table border="1" data-bbox="534 302 981 425"> <tr> <td>宍粟市の面積</td> <td>65860ha</td> </tr> <tr> <td>森林の面積</td> <td>59023ha</td> </tr> <tr> <td>家やお店など</td> <td>6837ha</td> </tr> </table>		宍粟市の面積	65860ha	森林の面積	59023ha	家やお店など
	宍粟市の面積	65860ha								
	森林の面積	59023ha								
家やお店など	6837ha									
132	写真	削除	写真「市内にあるスキー場」「市内にあるキャンプ場」「どんぐりの森づくり」は削除。	指導者による補足						
133										
135	写真	削除	ポスターについては、原稿の部分はそのまま掲載したが、写真の部分は削除した。	原稿を書く活動であれば参加しやすいため。						
137	写真	削除	写真「九谷焼資料館」「350年ほど前の九谷焼」は削除。	指導者による補足						

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
5年上	目次		追加	単元名、小単元名の次の項目を（数字）項目の書式で追加して記載した。	理解のしやすさ
				分冊について 2分冊以降の巻末に「日本の地方区分」とそれぞれの地方区分の地図を掲載した。5-4については、「六大陸と三海洋」の世界地図を加えた。	理解のしやすさ
	2	5	修正	文章を次のように修正した。 「8-1 1ページ（※5-1巻内）の地図で確かめてみましょう。地球の陸地は、いくつかの大きなまとまりに分けることができます。地図の大陸名と海洋名を確かめてみましょう。」	理解のしやすさ 教師による補足
	2	画像	削除修正	「わたしたちの住む地球」の画像を削除し、説明を次のように修正した。 「うちゅうから見た地球です。まるいようすがよくわかります。それぞれちがう方向から見ると見える大陸と海洋がことなります。たとえば3つの方向から見てみましょう。 1. インド洋を中心にした方向から見ると、アフリカ大陸、ユーラシア大陸、オーストラリア大陸、南極大陸が見えます。 2. 太平洋を中心にした方向から見ると、ユーラシア大陸、北アメリカ大陸、オーストラリア大陸が見えます。 3. 大西洋を中心にとみると北アメリカ大陸、南アメリカ大陸、南極大陸が見えます。」	理解のしやすさ
		地図	修正	「世界の陸地と海の模式図」のタイトルを「世界の陸地と海（六大陸と三海洋）」に修正し点図化した。世界地図には日本の位置を追加し、引き出し線を入れ枠の外に日本と示した。	理解のしやすさ 触覚による把握（地図の触り方について、指導者は、5-2 129ページ「学び方教室、地図の見方①」を参照。）
	3～4	地図	削除修正	「日本とそのまわりの国ぐに」の地図中の首都名を地図の中から削除した。国旗は、地図と分けて記載。色や模様の説明は、省略した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	3	画像	削除修正	「世界の陸地と海」の図を削除し、説明を一部次のように修正した。 「人工衛星によってさつえいした世界各地の写真を組み合わせてつくられた画像を見て、友だちが話をしています。」	理解のしやすさ 指導者による補足
	5	地図	修正	「日本の都道府県と地方区分」を「日本の地方区分」にタイトルを修正し、県境を削除した八地方に区分した地図とした。地方区分毎の都道府県名は、羅列して示した。さらに、地方区分ごとの地図を用意し、地図中に都道府県名を表記した。	理解のしやすさ
		吹き出し	修正	文章を次のように修正した。 「都道府県の位置と名前を地図帳で確認しましょう。」	理解のしやすさ
		グラフ	削除修正	「地方区分別の人口のわりあい」の円グラフを数表化した。	理解のしやすさ

5年 上		グラフ	削除 修正	「日本の山地と平地の広さ」の帯グラフを数表化した。	理解のしやすさ
	6	地図	修正 追加	「日本の気候区分」のタイトルを「日本の気候区分と海流の流れ」に修正した。地図を簡略化して作成した。その際、北海道の気候と南西諸島の気候の区分を示す線を追加した。	触覚による把握 指導者による補足
		グラフ	追加	気候区分毎の雨温図に「気温と降水量のうつりかわり」のタイトルを追加し、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	7	図	削除	「わたしたちの住む日本」の図・説明を削除した。	指導者による補足
	10	表	削除 修正	「給食のこん立て表」を削除し、次のように文章化した。 「東京都狛江市立狛江第五小学校の平成21年度4月の給食こん立て表があります。16日間の献立名とその使用材料が「熱や力のもとになる」「血や肉や骨になる」「体の調子を整える」の3つに分類され、書かれています。そのうち「熱や力のもとになる」の欄に注目してみると、16日間のうち9日分に「こめ」と書かれています。	理解のしやすさ
	12～15	本文	追加	本文が続いており、点字教科書のページが目次に示されていないため、検索をしやすくする目的で、「庄内平野について調べてわかったこと」の小タイトルを追加した。また、文中の◎の前に、それぞれ「資料1～3」を追加し、目次にも表記した。	理解のしやすさ
	13	地図	修正 追加	「庄内平野の土地利用のようす」を点図化した。その際、市街地・果樹園・その他は削除した。円グラフには、「作付け面積の割合」のタイトルを追加し、数表化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		吹き出し	修正	文章を次のように一部修正した。 「89ページの表から、全国に比べて庄内平野は、何に利用されている土地が目立ちますか、また、86～87ページの地図からその広がりや分布はどのようになっていますか。」	理解のしやすさ
		グラフ	削除 修正	「庄内平野と全国の耕地利用のようす」の円グラフを数表化した。	理解のしやすさ
	20	学び 方教室		(巻末に掲載) 「インターネットを使った検索のしかた」 修正は行っていないが、指導に配慮が必要である。	指導者による補足(実際にインターネットを使用する場合は、画面の説明を行うことや視覚障害者用のパソコンの使用方法について、自立活動や総合的な学習の時間などを活用して触れるようにする。)
21	グラフ	削除 修正	「庄内平野でつくられているお米の品種の移り変わり」のグラフを数表化した。また、「はえぬきの生まれるまで」の図も、構造図として理解しやすくした。	理解のしやすさ	
23	図	削除 修正 追加	「カントリーエレベーター」の図を削除し、図の説明と合わせ次のように修正し文章化した。 「建物全体が大きな機械といえます。小型の乾燥機に比べて、効率がよく、おいしさを保ったまま、貯蔵や出荷ができます。建物の入り口には、操作室があり機	理解のしやすさ 指導者による補足	

5年 上			<p>械を操作したり，集中管理したりすることができます お米はカントリーエレベータの中を，①荷受け ②計量 ③かんそう ④貯蔵 ⑤ふくろづめして出荷，の順序で流れていきます。」</p>	
24	グラフ	修正追加	<p>「庄内平野でとれたお米の出荷先」を横書きのグラフに修正し，点図化した。また，数値も併記した。</p>	<p>触覚による把握理解のしやすさ</p>
	地図	削除修正	<p>「庄内平野でとれたお米のおもな輸送方法とルート」の地図を文章化した。</p>	<p>理解のしやすさ</p>
27	グラフ	修正追加	<p>「農家数の移り変わり」を横書きのグラフに修正し，点図化した。数値も併記した</p>	<p>触覚による把握理解のしやすさ</p>
28	グラフ	削除修正	<p>「作業別の労働時間の移り変わり」のグラフを数値化した。</p>	<p>理解のしやすさ</p>
29	図	修正追加	<p>「エコファーマーのマーク」の説明に続けて，「マークの下に『環境にやさしい農業をはじめました エコファーマー』の文字が書かれています。」を追加した。</p>	<p>理解のしやすさ</p>
	写真	修正	<p>「QRコードから情報を読む消費者」の説明を一部次のように修正した。 「携帯電話のカメラ機能を使って商品につけられたQRコードを読み取ると，どこでどのように生産されているのかがわかります。」</p>	<p>理解のしやすさ</p>
33	グラフ	削除修正	<p>「おもな国の一人一日あたりの魚介類の消費量」のグラフを数表した。</p>	<p>理解のしやすさ</p>
34	グラフ	削除修正	<p>「世界の水産物輸入にしめる日本」の円グラフを数値化した。 また，「水産物の国内の水揚げ量と輸入量の移り変わり」は，水揚げ量と輸入量を別のグラフにしてそれぞれ点図化した。</p>	<p>理解のしやすさ</p>
35	グラフ	削除修正	<p>「おもな魚介類の輸入相手国」のグラフを数値化した。</p>	<p>理解のしやすさ</p>
	グラフ	修正追加	<p>「おもな魚介類の国内生産量と輸入量」をそれぞれ2枚の点図化し，数値も併記した。</p>	<p>理解のしやすさ</p>
36	地図	削除修正	<p>「日本のおもな漁港の水あげ量」の地図を「日本近海の海流ととれるおもな魚」として点図化した。また，「年間水あげ量5万t以上の漁港」については文章化した。</p>	<p>触覚による把握理解のしやすさ</p>
38	図	削除修正	<p>「巻き網漁のようす」の図を削除し次のように説明を加えた。 「いわし・あじ・サバなど魚の群れを全長約35mの船と手船と言われる小さな船の2隻で長方形の網を使って包み込んで捕獲する漁を巻き網漁といいます。2隻の船で魚の群れを追い込み，動力などで網を巻き上げます。船は，エンジンや照明などに使う燃料代がかかります。」</p>	<p>理解のしやすさ</p>
39	図	削除修正	<p>「インターネットによる，銚子特産のキンメダイの宣伝」に次のように説明を加えた。 「ホームページには『ちばの観光まるごと紹介』』というタイトルがつけられ，とれたてのキンメダイの画像ものせられています。」</p>	<p>理解のしやすさ</p>

5年 上	40	図	修正	「2そう引きの底引き網漁」を点図化した。	触覚による把握 指導者による補足（模型を使うなど配慮が必要である。）
	41	地図	修正	「世界の200海里水域と日本漁船のおもな漁場」の地図を「世界の200海里水域」と「日本漁船のおもな漁場」の二つに分けて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
		グラフ	修正	「種類別の漁業の水あげ高の移り変わり」のグラフを「沖合漁業と遠洋漁業」「沿岸漁業と養殖業」の二つに分けて点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	42	地図	削除 修正	「養殖のさかんな地域」の地図を文章化した。	理解のしやすさ
	44	地図	削除 修正	「銚子漁港に水あげされた新せんな魚介類の出荷先」の地図を文章化した。	理解のしやすさ
	49	問1	修正	次のように文章を一部修正した。 「87（※5-2巻）ページの都道府県別のお米の生産量の表からお米の生産量が30トンを超える都道府県を調べましょう。」	理解のしやすさ
		問2	修正	「問1の都道府県の位置を地図でさがしましょう。」	
	50	地図	修正	「都道府県別の野菜の生産額」の地図を削除し、数表化した。	理解のしやすさ
		学び 方教 室	差し 替え	（本巻巻末へ移動） 「地図の見方①」の内容を次のように差し替えた。 順番に、次のことを確認していきましょう。 はじめは先生といっしょに確認し、できたら自分一人でも練習してみましよう。 1. 題名を読み、どんな地図かを調べます。題名は地図の左上に書いてあるので、地図の向きもいっしょに調べます。 2. 地図の外側の枠をさわって、全体の大きさと範囲を調べます。 3. 触り始める場所を決めます。 4. 触り始める場所から、地図の線を一周まわって、どんな形をしているかを調べます。そのとき、形にどんな特徴があったかを、先生や友だちと話してみましよう。 5. 調べる場所を決め、その位置をしらべます。 6. 触り始める場所と調べる場所を行ったり来たりして、間違えずに往復できる行き方にはどうしたらいいかを考えてみます。 7. 調べる場所には、どのような点や模様がかかっているかしらべ、わかったことを先生やともだちとはなしてみます。 8. わからない記号やことば、模様があったら、左のページや上のページにある図の説明（凡例）を読んでみましよう。 9. 地図だけでわかりにくいことは、統計資料も使ってみましよう。 墨字の地図帳には、さくいんや、日本の主な山の高さ、日本のいろいろな場所に気温や降水量（雨や雪の量）など、いろいろな資料がのっています。	理解のしやすさ

5年 上	問1	修正	次のように修正した。 「野菜の生産額が1000億をこえている都道府県の場所を確かめよう。」	理解のしやすさ	
	グラフ	削除 修正	「おもな野菜の生産地」の円グラフを数表化した。	理解のしやすさ	
	問2	修正	次のように修正した。 「〇〇ページのおもな野菜の生産地は、何地方ですか。地図帳で調べましょう。」	理解のしやすさ	
	51	問3	修正	次のように修正した。 「どんなところで野菜の生産が多いのか、考えてみましょう。」	理解のしやすさ
		グラフ	削除 修正	「東京市場に入るキャベツの月別産地」のグラフを数値化した。	理解のしやすさ
	52	地図	削除 修正 追加	「りんごとみかんの生産地」の地図のうち、「年平均気温」の部分を取り上げ、「年平均気温別の分布図」というタイトルを追加し点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
		問1	修正	次のように修正した。 「次のりんごとみかんの生産量の多い県の表を調べて地図帳で確認しましょう。」（その後に表が続く）	理解のしやすさ
		問2	修正	次のように修正した。 「次の年平均気温別の分布図を調べて、その特徴を考えましょう。」（その後に図が続く）	理解のしやすさ
	53	地図	修正	「肉牛・乳牛・ブタ・ニワトリの飼育数の多い都道府県」の地図を項目ごとに文章化した。	理解のしやすさ
		問1	修正	次のように修正した。 「次の肉牛・乳牛・ブタ・ニワトリの飼育数の多い都道府県を読み取り、それぞれ多い順に3つの都道府県をノートに書きましょう。」（その後に表が続く）	理解のしやすさ
		問2	修正	次のように修正した。 「それぞれの産地となっている都道府県を地図帳で調べましょう」。	理解のしやすさ
	54	グラフ	削除 修正	「おもな国の食料の自給率」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
		グラフ	削除 修正	「おもな食料の輸入相手国」のグラフを数表化した。	理解のしやすさ
		問2	修正	次のように修正した 「次のおもな食料の輸入相手国の位置を地図帳で調べましょう。」（その後に表が続く）	理解のしやすさ
	56	グラフ	削除 修正	「農業と、水産業で働く人の数の移り変わり」のグラフの年度のうち1970年・1990年・2005年を取り上げ数表化した。	理解のしやすさ
58	図	削除 修正	「夕張メロンの品質基準」を次のように文章化した。 「収穫された夕張メロンは、JAでの糖度・果肉質・形状・大きさなど全28項目の検査で合格したものが出荷されます。合格したメロンは、品質基準により「特秀」「秀」「優」「良」という段階に分けられます。	理解のしやすさ	
67	表	削除 修正	「新しい自動車が生まれるまでの流れ」の表を次のように文章化した。 「生産開始する4年前には、新しい自動車について企画します。そして、新しいしくみのエンジンや部品の開発に取り組みます。2年前には、生産の計画をたて	理解のしやすさ	

5年上			たり試験をします。そして、1年前には改良を加えたり試験をしたりして生産の準備をします。」	
69	図	削除 修正	「敷地内のおもな建物」の図を削除し、建物名を羅列した。	理解のしやすさ
	図	削除 修正	「組み立て工場働く人の勤務時間」の図を削除し、次のように文章(項目)化した。 「ア. 早朝からの勤務 朝6時30分から働き始めます。10時30分までの間に10分の休憩を取ります。10時30分から11時15分までは休憩します。また、11時15分から15時15分まで働きます。その間に10分間の休憩時間があります。 イ. 夕方からの勤務時間 夕方、16時15分から働き始めます。20時30分までの間に10分の休憩をとります。20時30分から21時15分までは休憩します。また、21時15分から1時30分まで働きます。その間に10分間の休憩時間をとります。」	理解のしやすさ
72	図	削除 追加 修正	「自動車とのつながりのあるいろいろな工業」の図を削除し、「自動車を生産するには、多くの部品が必要です。さまざまな工業とつながりがあります。」という説明を追加した後に、図の中の項目を羅列した。	理解のしやすさ
75	地図	修正	日本のおもな交通網の点図を「新幹線」「おもな鉄道」「おもな航路」「高速道路網」の4つに分け点図化した。また、「高速道路網」は、開通区間と工事区間は分けずに表記した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
76	地図	削除 修正	「日本の乗用車のおもな輸出先と鉄鉱石のおもな輸入先」の地図を削除し、「日本の乗用車のおもな輸出先」と「鉄鉱石のおもな輸入先」に分けて数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足(地図を削除したので、外国の位置については地図帳の確かめなどで補うようにする。)
77	地図	削除 修正 追加	「外国へ進出した日本の自動車会社の工場」の地図を削除し、「日本の自動車会社の進出している国や地域」と説明を追加し、国を羅列した。	理解のしやすさ 指導者による補足
78	グラフ	修正	「交通事故件数と死者数」のグラフのうち1960年・70年・80年・90年・2000年・2008年を取り上げ、概数を数値化した。	理解のしやすさ
79	3 10 12	修正	文章の一部(下線部)を次のように修正した。 「 <u>車いすを使う人のためにつくられた自動車は、</u> ～」 「また、足を使わなくても・・・」 「 <u>つくられた自動車もあります。</u> ～」	理解のしやすさ
82	7 18	修正	文章の一部を次のように修正した。 「ハイブリッド自動車は～」 「電気自動車は、～」	理解のしやすさ
83	図	削除 修正	「リサイクルされている自動車のおもな部品」の図を削除し、文章化した。	理解のしやすさ
88	グラフ	削除 修正	「いろいろな工業の生産額の割合の移り変わり」のグラフを削除した。グラフ上に示されている「重化学工業」と「軽工業」について文章化した。また、グラフのうち、1970年・1990年・2006年を取り上げて簡略化	理解のしやすさ

5年 上			した数表で表した。		
	グラフ	削除 修正	「いろいろな工業の工場数の移り変わり」のグラフを削除した。2006年のみ取り上げ数表で表した。	理解のしやすさ	
	グラフ	削除 修正	「いろいろな工業の工場働く人の割合の移り変わり」のグラフを削除した。2006年のみ取り上げ数表で表した。	理解のしやすさ	
	89	地図 グラフ	削除 修正	「日本のおもな輸入先と輸入品」の地図とグラフを、「日本の輸入先と輸入額」と「日本のおもな輸入品の割合」の二つに分けて羅列した。	理解のしやすさ
		地図 グラフ	削除 修正	「日本のおもな輸出先と輸出品」の地図とグラフを、「日本のおもな輸出先と輸出額」と「日本のおもな輸出品の割合」の二つに分けて羅列した。	理解のしやすさ
		吹き出し	修正	文章の一部を次のように修正した。 「51(5-3)ページを見ると、鉄鉱石の輸入先がわかるよ。地図帳を使って、場所を確認しよう。」	理解のしやすさ
	90	グラフ	削除 修正	「おもな工業地帯・工業地域の工業生産額」のグラフを削除し、「おもな工業地帯・工業地域の工業生産額」と「おもな工業地帯・工業地域の工業生産額に対する工業別の割合」の二つの簡略化した数表で表した。数値は概数とした。	理解のしやすさ 指導者による補足
		地図	修正	「工業のさかんなところ」の地図を「おもな工業地帯・工業地域」と「工業のさかんなところ」(都市名は削除)の二つに分け点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ 指導者による補足
		問3	修正	文章の一部を次のように修正した。 「問3 問1、問2の表にある工業地帯や地域はどこにあるのかを地図で確かめましょう。」	理解のしやすさ
	96	写真	削除 追加	「駅構内にある案内表示」に説明を次のとおり追加した。 「オレンジ地に黒い文字で、直進・東口・西口と書かれています。日本語の他に、英語、中国語(簡体字)、韓国語(ハングル)でも書かれています。」	理解のしやすさ 指導者による補足
地図		削除 修正	「災害時に避難する場所を示した地図」の説明の一部を次のように修正した。 「地域毎に災害時には、どこに避難するのかが、色分けされて示されています。視覚的に分かりやすいように色などに配りよしてつくられ、できるだけ多くの人に正しく情報が伝わるようになっています。」	理解のしやすさ 指導者による補足	
写真		削除 修正	「多くの人が使えようにくふうされた文ぼう具」について、それぞれの文房具のパッケージに書かれている文字を文章化した。	理解のしやすさ 指導者による補足	
97	写真	削除 追加	「投入口の低いポスト」の写真に説明を次のように追加した。 「投入口が低いので、車いすのまま投かんすることができます。」	理解のしやすさ 指導者による補足	

学年	ページ	行	事項	修正内容	備考
5年 下	見開き	絵	削除	絵は削除し、目次の後に「この教科書を使う皆さんへ」を配置した。	指導者による補足
	2～3	写真 目次	削除	見開きの目次と重複するため削除した。写真はタイトルのみ提示した。	指導者による補足
	4～5	図 写真	修正	棒グラフ「主な国の1000人当たりの新聞発行部数」は、点図に表すとともにデータを数表化した	触覚による把握 理解のしやすさ
			削除 追加	写真は削除し、タイトルのみ提示した。ただし、「同じ日の新聞の朝刊」は次のように文章で補足した。 朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、静岡新聞の同じ日の朝刊の一面一ページ目の写真です。それぞれの記事の見出しやレイアウトが異なります。	理解のしやすさ
	地図	移動	静岡市の場所を示す地図は、地図理解を整理して示すため、巻末にまとめて示した。	触覚による把握 理解のしやすさ	
6～7	地図	点図	地図「新聞社の支局があるところ」は、大まかな分布を確認することを主眼に置いて点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ	
	写真	削除 追加	写真は削除した上で、次のような修正をした。 取材のようすを写した3枚の写真は、順を追って「取材のようす」として、次のような説明を補足してまとめた。 ア. 取材をする 実際に富士山に行って、地元の人に話を聞いています イ. 取材した内容を記事にする パソコンを使って、記事を書いています ウ. 携帯電話を使って記事を送る 時間がないときなど・・・以下本文と同様 また、「静岡市にある本社」は、「静岡市にある新聞社の本社の建物」とした。	理解のしやすさ 指導者による補足	
8～9	絵	削除 追記	「編集局のしくみ」は絵を削除し、次の補足をした。 編集局は、9つの部にわかれています。	理解のしやすさ	
	写真	削除 追記	(※以下、各部ごとに箇条書き。政治→社会→スポーツ→経済→国際→出稿→業務→整理→製作の順) ページ上部にまたがる写真は、削除した上で「新聞記事ができるまで」という標題を付け、解説を箇条書きにした。	理解のしやすさ 指導者による補足	

5年 下	10～11	地図	削除 追記	地図「日本に記事を送る主な通信社のあるところ」は削除し、地名と国名を箇条書きで表記した	理解のしやすさ
		絵	削除	「外国から情報が届くしくみ」のイラストは削除し、構造図として示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
		写真	削除 追記	写真「通信社からの記事」は、新聞記事の一部が資料となることから、次のように補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">通信社の名前や、書かれた地名、日付が付け加えられています。</div>	理解のしやすさ
		写真	削除 修正	写真「仕事の求人らん」は、新聞記事の一部が資料となるが読み取りが困難なことことから、次のように解説を修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">どんな仕事が必要か、交通費は支給されるのか、などがこまかく書かれています。</div>	理解のしやすさ
	12～13	写真	削除 追記	写真「点字の新聞」は削除し、次のように補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">「点字毎日」の写真です。目の不自由な人も…</div>	理解のしやすさ
		表	数表 併記	表「携帯電話の台数の移り変わり」は、グラフで表記するとともに、数値を確認するため数表を併記した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	14～15	絵	削除 補足	p. 15のまとめ方の例では、イラストを削除し、セリフを置き換えた上で、次のように補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">ビデオに撮影しなくても、ICレコーダーなどに録音して、ラジオニュースとして放送することもできます。</div>	理解のしやすさ 字使用の生徒が実施可能な方法を例示した。
	16～17	写真	削除 補足	写真「学校の図書館で調べる」は、タイトルを残し「学校の図書館で調べるようす」とした	理解のしやすさ
	18～19	図	点図 削除	図「茨城県救急医療情報コントロールのネットワークシステム」はイラストを削除し、解説文はそのまま残し、構造図として示した	理解のしやすさ
		地図	移動	水戸市の場所を示す地図は、地図理解を整理して示すため、巻末にまとめて示した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	20～21	写真	削除 修正	写真「緊急速報エリアメール」は、写真を削除したが、タイトルを「携帯電話に届く緊急速報エリアメール（東京都足立区でのようす）」とした	理解のしやすさ
	22～23	図	削除 修正	図「情報に囲まれた社会」はイラストを削除し、解説文はそのまま残し、箇条書きにして示した	理解のしやすさ
	24～25	本文	修正	p. 25「討論会の進め方」は子どものイラストを削除し、発言を順番に、箇条書きで示した。	理解のしやすさ

5年 下	26～27	本文	移動	当該ページ「ひろげよう ふかめよう」は全体として巻末に示した	理解のしやすさ
		写真	削除 補足	写真「誤った新聞報道のようす」は、記事の内容に関わるため、以下の補足をした。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">1994年の事件の新聞記事の写真です。 報道する側は、…以下解説文と同じ</div>	理解のしやすさ
	28～29	写真 目次	削除	見開きの目次と重複するため削除した。写真はタイトルのみ提示した。	指導者による補足
30～31	30～31	図	削除 補足	p. 30上側の「地形の模式図」は、図としては削除し、以下のように文章化して補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「いろいろな地形」 山脈 山が連なっているところ 高原 山などの高いところにある平らな土地 盆地 山に囲まれている平らな土地 台地 台形のように、まわりより少し高くなっている平らな土地 平野 海のそばにある、平らな土地</div>	理解のしやすさ 指導者による補足 (地形の理解は、模型を使った体験的な理解が望ましい。)
		本文	修正	p. 31本文は、以下のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">京都市にある清水寺で、季節ごとに写真を撮ると、けしきがちがいます。 日本の気候は、… 以下、本文と同じ</div>	理解のしやすさ 指導者による補足
		地図	移動	京都市の場所を示す地図は、地図理解を整理して示すため、巻末にまとめて示した。	触覚による把握 理解のしやすさ
32～33	本文	補足	地球儀に関する「学び方教室」は巻末に示したため、該当ページの本文文末に参照ページを補足した。	理解のしやすさ	
	図	修正	棒グラフ「日本列島の面積」は数表化した。	理解のしやすさ	
	図 写真	修正	地図「日本列島の位置」は近隣諸国の位置関係を点図化した。なお、地図中の位置に関する説明は、写真「日本のはしにある島々」中の四島説明に補記した。	理解のしやすさ 触覚による把握	
	説明	修正	地図「日本列島の位置」左上にある説明文は、以下のように修正した。(下線部が修正部分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「経度は東西の位置を表し、イギリスのロンドンにあ る旧グリニッジ天文台を通る経線を0度…緯度は南北の位置を表し、赤道を0度の緯線として…」</div>	理解のしやすさ	
	図	修正	p. 33図「緯度と経度」は緯度と経度の各模式図の2枚にわけて、角度が明確となるように示した	理解のしやすさ 触覚による把握	

5年 下	34～35	配置	移動	学び方教室「地球儀の使い方」は全体を巻末に示した	理解のしやすさ
		写真	削除	写真「地球儀を使って調べる」は削除した	指導者による補足（実際に、地球儀を触って調べることが重要）
		写真	削除 補足	南房総市とイギリスの写真は、以下のようにタイトルを補足した 「色とりどりの花が咲く千葉県南房総市」 「古い建物の前をバスが走るイギリスのようす」	理解のしやすさ
	36～37	図	修正	地図「日本のおもな山地や山脈など」は触察の特性に応じ、 <u>空欄の山地に地名と注記符を加えた上で点図化し</u> 、当該の山地を確認し直すことができるようにした。また、標高別の塗り分けは削除した。	触覚による把握 理解のしやすさ 空欄の山地は、地名を確認した後に地図帳で位置を確認し直すことが重要である。
		図	修正	断面図「富山市から静岡市にかけての山と川」は、 <u>空欄の山地に地名と注記符を加えた上で点図化し</u> 、当該の山地を確認し直すことができるようにした。	触覚による把握 理解のしやすさ
		文章	修正	先生の発言を上記修正に伴い、次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地図帳で、符号のついた山地の位置を確認してみましょう。また、富山市から静岡市にかけての断面図にある3つの山は、それぞれどの山脈や山地にあるか調べてみましょう。</div>	理解のしやすさ
		図	修正	地図「日本のおもな川と平野」は触察の特性に応じ、 <u>空欄の川と平野に地名と注記符を加えた上で、川と平野を別々の図にして点図化した</u> 。また、標高別の塗り分けは削除した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		図	修正	グラフ「川の長さ」は、解説文ののち、点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		文章	修正	先生の発言を上記修正に伴い、次のように修正した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地図帳で、符号のついた川や平野の位置をもう一度確認してみましょう。</div>	理解のしやすさ
		写真	削除 修正	2枚の写真のタイトルを統合して表記した。 「出入りの多い海岸（三重県）と出入りの少ない海岸（宮崎県）」とした。	理解のしやすさ
38～39	図	修正	地図「日本列島の気温」（2月と8月の等温図）は、等温図としての触読が可能ないように、それぞれ3段階程度に分けて表記した。	触覚による把握 指導者による補足	
	図	修正	地図「日本列島の降水量」（2月と8月の降水量）は、降水量の分布を示した図としての触読が可能ないように、それぞれ3段階程度に分けて表記した。	触覚による把握 指導者による補足	

5年 下	38～39	図	修正	地図「台風のおおよその進路図」は、触察が可能な範囲で点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
		図	削除 修正	地図「桜の開花時期」は、表形式とし、各都道府県の県庁所在地の桜の開花時期（日付）を表にして示した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		図	削除 修正	<p>地図「冬夏の季節風」は、削除し次のように文章として示した。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>冬北西からの季節風 日本海を通る冷たくしめった風は、越後山脈にぶつかって越後平野に多くの雪を降らせる。その後水分を落としたこの風は越後山脈を越えて乾いた風となり、前橋市や東京に吹きつける。</p> <p>夏南東からの季節風 太平洋を通るあたたかくしめった風は、越後山脈を越えるときに冷やされて雨を降らせ、乾いた風となって越後平野や日本海へと吹く。</p> </div>	理解のしやすさ 指導者による補足
40～41	絵	削除	ポスターの絵の部分は削除し、文章部分のみ箇条書きとした。	指導者による補足	
42～43	写真 本文	削除 補足	<p>p. 42の2枚の写真を削除し、それに伴って本文の表記を以下のように変更した。（下線部が補足部分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>先生が、群馬県嬭恋村と埼玉県北川辺町の2枚の写真を見せてくださいました。嬭恋村は山の近くで畑が広がっていて、北川辺町は湖や大きな川、平野が広がっています。嬭恋村は高いところにあり、…</p> </div>	指導者による補足	
	写真 本文	削除 補足	<p>p. 43の2枚の写真を削除し、それに伴って本文の表記を以下のように変更した。（下線部が補足部分）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>つぎに先生は、2枚の通学風景の写真を見せてくださいました。1枚目の新潟県十日町市の2月のようすでは、自分の身長よりも高く積もった雪の中を通学する友達があります。もう1枚の沖縄県宜野湾市の同じ2月のようすでは、みな薄着で、半袖や半ズボンで通学している友達もいます。新潟県は雪国と…</p> </div>	指導者による補足	
44～45	地図	移動	嬭恋村の場所を示す地図は、地図理解を整理して示すため、巻末にまとめて示した。	触覚による把握 理解のしやすさ	
	地図	修正	嬭恋村の土地利用を示す地図は、触察に適する内容に絞って点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ	
	図	修正	嬭恋村の野菜の作付面積を示すグラフは、データを読み取りやすいように数表を併記する形で点図化した。	触覚による把握 指導者による補足	
	図	修正	嬭恋村の月別平年気温と降水量は、雨温図をイメージしやすいよう点図化した。	触覚による把握 指導者による補足	
46～47	図	修正	嬭恋村の人々の仕事を示す円グラフは、データを読み取りやすいように数表を併記する形で点図化した。	触覚による把握 指導者による補足	

5年 下	46～47	図	削除 修正	棒グラフ「キャベツの出荷量の移り変わり」は、嬭恋村の月別平年気温と降水量は、削除し数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		図	削除 修正	地図「嬭恋村でとれたキャベツの出荷先」は、出荷先がはっきりわかるように地図を削除し数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		図	削除 修正	円グラフ「嬭恋村の野菜の作付面積」は、数値がわかるよう数表を併記する形でグラフ化した。	触覚による把握 指導者による補足
	48～49	図	修正	棒グラフ「観光客数の移り変わり」は、数値がわかるよう数表を併記する形でグラフ化した。	触覚による把握 指導者による補足
		写真	修正 補足	観光地の写真は、写真自体を削除しタイトルと解説文を、次の順番でまとめて示した。 バラギ湖 → 万座温泉 → 嬭恋スキー場 → 鎌原観音堂	指導者による補足
	50～51	写真 図	削除	次の写真および模式図は、本文と内容が重複するためタイトルを含めて削除した。 ・水塚 ・つりさげられたあげ船 ・洪水が起きたときの水塚とあげ船	指導者による補足
	52～53	地図	修正 補足	「町の避難場所を示した地図」は、要素を抽出して読み取りしやすい形で点図化する	触覚による把握 指導者による補足
	54～55	写真	削除 補足	観光地の写真は、写真自体を削除しタイトルと解説文を、次の順番でまとめて示した。 スーパー堤防の近くにある水田のようす→お米を宣伝する看板→トマト作りのようす→鬼バスの花	指導者による補足
		図	修正	図「北川辺町の農作物の生産」は、要素を整理して数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
	56～57	写真 本文	削除 補足	p. 56の写真を削除し、それに伴って本文の表記を以下のように変更した。（下線部が補足部分） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">先生が、1枚の写真とグラフを見せてくださいました。新潟県上越市で、2メートルよりも高く雪が降り積もったときの写真です。</div>	指導者による補足
		地図	移動	上越市の場所を示す地図は、地図理解を整理して示すため、巻末にまとめて示した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		図	修正	上越市の月別平年気温と降水量は、雨温図をイメージしやすいよう点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
		地図	修正 補足	「新潟県の雪の多い地域」は、要素を抽出して読み取りしやすい形で点図化する	触覚による把握 指導者による補足
		図	削除 補足	棒グラフ「上越市に降った雪の深さの移り変わり」は数表化する。	指導者による補足

5年 下	56～57	絵図	削除 補足	イラストを削除し、次のような補足の文章を加える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;">たて・横・高さが・1メートルのかたくしまった雪はおよそ350kgあり、これは小学生10人分と同じ重さです。</div>	理解のしやすさ
	58～59	写真	削除 修正	次の順にタイトルと解説文をとりあげる。「」は説明を補足した。 全体タイトル「雪国の生活のようす」 道路のようす → ・流雪溝に雪を落とす「ようす」 → おおいが付けられた道路標識 → 背の高い消火栓 → 雪を溶かす消雪パイプ → 除雪車による作業 → ごみをあつめておく施設 → 雪に備えた住宅 → いっせいに行われた雪下ろしの「ようす」 → 河原に雪を運ぶ「ようす」	理解のしやすさ
	60～61	写真 図	削除 修正	次の順にタイトルと解説文をとりあげる。「」は説明を補足した。(図は削除した) 十日町雪祭り → 雪さらし → クロスカントリースキーと小学5年生の作った詩 → 酒蔵 → 雪のまち未来館 「冬に作った雪を1階の部屋に貯めておいて、夏にその雪からでる冷たい空気を未来館全体の冷房として使っています。」	理解のしやすさ
	62～63	地図	移動	沖縄島の場所を示す地図は、地図理解を整理して示すため、巻末にまとめて示した。	触覚による把握 理解のしやすさ
		図	削除 修正	棒グラフ「日本を襲った台風の数」は、地域別に数表化する	理解のしやすさ 指導者による補足
		地図	修正 補足	「沖縄島の水源」は、要素を抽出して点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	64～65	写真	削除 修正	次の順にタイトルと解説文をとりあげる。「」は説明を補足した。(図は削除した) 台風による被害 (解説補足) 「強い風のために大きな木が道路に倒れています」 → 屋根の上に貯水タンクを置いた家 → 海水を真水に変える施設	理解のしやすさ
		図	削除 修正	棒グラフ「沖縄島の主な農作物の作付面積」は、削除し数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足
図		削除 修正	円グラフ「沖縄島の野菜の生産」は図を削除し数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足	
図		削除 修正	棒グラフ「沖縄島の花の生産」は、削除し数表化した。	理解のしやすさ 指導者による補足	
64～65	写真	削除 修正	次の順にタイトルと解説文をとりあげる。「」は説明を補足した。(図は削除した) 機械を使ったサトウキビの収穫作業 → 手作業での「サトウキビの」収穫を体験する小学生 → 菊の栽培 → ニガウリの出荷 → 飛行機を利用	理解のしやすさ	

5年 下				した出荷	
	66～67	図	削除 修正	棒グラフ「沖縄県を訪れた観光客数の移り変わり」は、点図化した上で、数表を併記した。	理解のしやすさ 指導者による補足
		写真	削除 修正	次の順にタイトルと解説文をとりあげる。「」は説明を補足した。 4月から11月まで海水浴のできる海 → ヤンバルクイナ → エイサーと呼ばれる踊り → 「紅型」とよばれる独特な染物 → 独特な色や形の焼き物 → 首里城 → 赤土の流れ出している河口付近	理解のしやすさ
		地図	修正	地図「アメリカ軍の軍湯地の広がり」は、軍用地のみを分かりやすく示すよう点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	68～69	図	削除 修正	観光ガイドのイラストとガイドマップは、そのタイトルを示し削除した。	理解のしやすさ
	70～71	写真 目次	削除	見開きの目次と重複するため削除した。写真はタイトルのみ提示した。	指導者による補足
	72～73	地図	削除 補足	「各地にある漁民の森」地図は削除し、都道府県別の件数を数表化した。	指導者による補足 理解のしやすさ
		図	削除	「森林と海のつながり」イラストは削除した。	指導者による補足 理解のしやすさ
	74～75	本文	修正 補足	a. 75の本文について、冒頭を次のように修正した。 (下線部は修正部分) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">森林には、このほかにどのようなはたらきがあるか<u>考</u> <u>えてみましょう。</u> 森林は…」</div>	指導者による補足 理解のしやすさ
		図	削除	「山に降った雨の行方」イラストは削除し、文章を箇条書きした。	理解のしやすさ
	図	削除 補足	「国土に占める森林の面積」円グラフを削除し、数表化した。	理解のしやすさ	
	資料	削除 補足	「森林の役割」は、イラストを削除し、次の順に箇条書きでまとめた。 ア 澄み切った空気と… イ 地球温暖化の原因となる… ウ 木材を生み出す エ 土砂の流出を防ぐ オ 楽しいレクリエーションの… カ 降った雨をすいこみ… キ 地滑りを防ぐ ク なだれや落石を防ぐ ケ 生物のすみかになる コ 風を防ぐ サ 潮風や、砂が飛び散るのを防ぐ シ 海に栄養分をもたらす	理解のしやすさ	
76～77	地図	修正 補足	地図「森林の分布と主な林業地域」は、サーモフォームで地図の分布を示し、「主な林業地域」は当該の県を	指導者による補足 触察による把握	

5年 下	76～77	表	修正 補足	別表にまとめた。 「国産の木材と輸入した木材の割合」は、各項目の総数と割合を数表化し、2007年の分布は別表にまとめた。	指導者による補足 理解のしやすさ
		表	修正 補足	「日本ではたらく林業の人の数の移り変わり」は全体の变化をグラフで示し、各項目については数表に示した。	指導者による補足 触察による把握
	78～79	表	修正	「宮崎県で森林作りをするボランティア団体」は、このまま数表化した。	触察による把握
		絵図	削除	「広葉樹林の復元」はイラストを削除し、手順を箇条書きした。	理解のしやすさ
	80～81	絵図	削除 補足	「森林かるた」の絵札を削除し、各札の一字目は、「 」でくくった。	指導者による補足 理解のしやすさ
		文章	補足	「学び方教室」の文末に、以下のような補足をした。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">自分たちで読み札をつくり、絵札は先生や友だちに作ってもらいましょう</div>	理解のしやすさ 指導者による補足
	82～83	本文	補足	右ページの囲い部分は「わかったこと」という見出しで整理した。	理解のしやすさ
		地図	移動	神戸市・淡路島の場所を示す地図は、地図理解を整理して示すため、巻末にまとめて示した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	84～85	本文	修正	冒頭に、図のページ数をわかるように補足した。	理解のしやすさ
		地図	修正	地震を予想した地図は、3%以下、3～26%、26%以上の3段階の分布図として点図化した。	触覚による把握 理解のしやすさ
	地図	修正	繰り返し起こる大地震は、範囲を示した地図と、周期を示した説明をそれぞれ別にして示した。	触覚による把握 理解のしやすさ	
	図	削除 補足	大地震の起こるしくみは、イラストを削除し、次のような説明文にする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">「太平洋側の海底の地面は、日本列島の陸地の下に向かって沈みこむように動いています。それに引っ張られて日本列島の地面も動き、ぶつかっているところでひずみがたまります。それが限界になると、日本列島の地面のひずみが一気に元に戻り、そこで地震が発生し、津波も起こります。」</div>	指導者による補足	
	図	削除 補足	「ライフラインが復旧するまで」は、以下のように箇条書きにした。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">地震が発生してから、ライフラインが復旧するまでに次のような時間がかかります。 ・電気 6～12日程度 ・電話 12日程度 ・上/下水道、都市ガス 1ヶ月以上</div>	指導者による補足 理解のしやすさ	

5年 下	86～87	絵 図	削除	「総合防災情報支援システム」はイラストを削除し、構造図にする。	理解のしやすさ
		図	削除 補足	「緊急地震速報のしくみ」は削除し、次の文章のように補足した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「地震が発生すると、はやくて小さい揺れと遅くて強い揺れがおきます。気象庁は地震計を使って、早くて小さい揺れをキャッチします。すぐに緊急地震速報を出して、強い揺れに注意するよう呼びかけ、大きな揺れが来る前に地震が来ることを知らせます。」 </div>	理解のしやすさ
	絵 図	削除	「緊急地震速報が発表された時の対応」は、イラストを削除し、説明を箇条書きにする。		
	写 真	削除 補足	「倒れにくい工夫のある工場」は、写真を削除し、次のような補足文を加えた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 大きな窓ガラスのところにななめに鉄の柱が取り付けられています。 </div>		
90～91	地 図	削除 修正	「私たちの町の防災マップ」は、駅周辺の施設が集中している地域にクローズアップして図を作成した。	触察による把握 指導者による補足	
92～93	本 文	補 足	右ページの囲い部分は「わかったこと」という見出しで整理した。	理解のしやすさ	
	地 図	削 除 修 正	「四大公害の起きたところ」は、地図を削除し、公害の起きたところを都道府県名を加えた上で、西から順に列記する。	理解のしやすさ 必要に応じ、地図帳を併用して位置の確認をすることが望ましい。	
	地 図	移 動	水俣市の場所を示す地図は、地図理解を整理して示すため、巻末にまとめて示した。	触覚による把握 理解のしやすさ	
94～95	絵 図	削 除 補 足	「有機水銀などの有害な物質が人の体内に入るまで」は、イラストを削除し、解説文は「左下の文」→「右上の文」をつなげて文章化した。	理解のしやすさ 指導者による補足	
	年 表	修 正	「水俣病の歩み」は、2枚の年表を続けて配置する。ただし、①と②の区切れ目を明確にする。	理解のしやすさ	
96～97	写 真	削 除 修 正	「水俣湾の埋め立て地の近くにできた施設」は、写真は削除し、施設名を 国 → 熊本県 → 水俣市 の各施設の順に配置した。	指導者による補足	
98～99	絵 図	削 除 補 足	「循環型の環境モデル都市作り」は、イラストを削除し、次のような補足文を加え、その後4つの具体的な活動を箇条書きでまとめた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 「住民、役所行政、企業が協働で進め、地域の活力を生み出し、「環境」と「経済」とが調和した地域社会を作ろうとするものです。具体的には、次の4つの活動があります」 </div>	指導者による補足	

5年 下		写真	削除 補足	<p>※その後、「環境配慮型の暮らし」「自然と共生する環境保全型の都市」「環境にこだわった産業」「環境学習都市」の順に項目だてし、それぞれ箇条書きにした。</p> <p>「環境マイスターが作った品」は、写真を削除し、次のような補足文を加えた。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>お茶やみかんがあります</p> </div>	指導者による補足
	100- 101	項目	移動	「学び方教室 レポートの書き方」は巻末にまとめた	理解のしやすさ
	102- 103	写真	削除 修正	本ページの写真は、地震の時間軸を追ってタイトルおよび解説文を掲載した。	理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正 事項	修 正 内 容	備 考
6 上 下	表紙	写真	削除	写真は削除した。	指導者による補足
6 上	見開き	絵	削除	図は削除した。「目次」「この教科書を使うみなさんへ」「学習の道案内をします」の順に配置した。	理解のしやすさ
	2, 3	絵 目次	削除	見開きの目次と重複するため削除した。	理解のしやすさ
	4～6	絵 写真	削除 修正	絵と写真を削除した。「歴史を調べる手がかり 1」として巻末へ配置した。 以下については次のように文章化した。 「本陣跡の石碑」	理解のしやすさ
				千住宿本陣跡と書かれています。 「現在の道に埋め込まれたタイル」 着物を着て刀を腰にたずさえた武士と、大名を乗せた籠が描かれています。タイルには「千住宿」と書かれています。	
7～9	絵 写真	削除 修正	絵と写真を削除し、「歴史を調べる手がかり 2」として巻末へ配置した。以下は次のように文章化した。 「消火のためのバケツリレーの訓練の模型」	理解のしやすさ 指導者による補足	
			町の通りで一列に並び、水を入れたバケツを隣の人へ運んでいます。		
			「防空壕と防火用水」 家の裏に水をためています。空襲から身を守るための穴を掘り、土嚢で覆っています。 「さあ、いよいよ歴史の学習が本格的にはじまります。・・・学習を進めてほしいと願っているからです。」は、「左ページ」「右ページ」「両ページを矢印でつなぐようにしています。」を省略し、「学習の道案内をします」の次に入れた。		
10, 11	絵 写真	削除 修正	絵と写真は削除した。「吉野ヶ里のむらのようす」については次のように文章化した。	理解のしやすさ	
			「人の住居があり、その周りに 6 本柱の高い建物があります。集落の周りは木でできた柵があり、周りを二重の堀で囲まれています。」		
	年表	削除	「ここで学習する時代」は削除した。	指導者による補足	

12, 13	絵 写真	削除 修正	<p>絵と写真は削除し、以下は次のように文章化した。 「鳥浜貝塚に住んでいた人びとの暮らし」</p> <p>地面に円形に柱を立てて屋根をふいた家に住んでいます。近くでは、獲ってきた動物の皮を吊り下げて干しています。食べた貝の殻を捨てる決まった場所があります。近くの川では、木製の舟で漁をしています。網のようなものを使って魚をとり、捕まえた魚を干しています。</p> <p>「復元された三内丸山遺跡」</p> <p>高さ15mほどの6本柱で支えている三階建ての建物があります。柱の直径は1メートルもあります。この建物は、物見やぐら、あるいは祭りの儀式をした場所と考えられています。集会が開かれたと考えられる大きな建物もあります。長さは約32メートル、幅は約10メートルです。</p>	理解のしやすさ 指導者による補足
	地図	修正	「二つの遺跡の位置」については、巻末に「遺跡地図」として点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
14, 15	絵 写真	削除 修正	<p>絵と写真は削除した。「米作りのようすと1年のくらし」については、縦軸に四季、横軸に採集、作物づくり、漁、季節の様子を整理して点図化して示した。「戦いのようす」については次のように文章化した。</p> <p>見張りのための物見やぐらの前で、刀や弓を使って戦っています。</p>	理解のしやすさ 触覚による把握
	16, 17	絵 写真	削除 修正	<p>絵と写真は削除した。「銅鐸と鳴らし方」については次のように文章化した。</p> <p>中に金属がぶら下がっており、それを手で振って鳴らします。</p>
18, 19	写真	削除 修正	<p>写真は削除し、「大仙古墳」については点図化して次のように加筆した。</p> <p>縦は486m、横は305mです。</p>	触覚による把握
	地図	修正	<p>「各地に作られた古墳」については点図化した。「古墳の集まっているところ」のみを示し、合わせて次のように文章化した。</p> <p>主な古墳として、埼玉県の稲荷山古墳、大阪府の大仙古墳（仁徳陵）があります。ほかにも、毛野（栃木県、群馬県）、尾張（愛知県）、大和・河内（奈良県、大阪府）、出雲（島根県）、吉備（岡山県）、筑紫（福岡県）、日向（宮崎県）に古墳は多く集まっています。</p>	触覚による把握 理解のしやすさ
20, 21	絵 写真	削除 修正	<p>絵と写真は削除し、以下は次のように文章化した。 「古墳をつくる様子」</p> <p>古墳は山をけずってつくられ、表面は石でおおわれていました。ふもとから石やはにわを運び上げ、せまい屋根の上に大きな古墳を築き上げています。すべて人々の手によって行われています。</p> <p>「古墳にほうむられた大王」</p> <p>飾り物を身につけ、銅の鏡や剣なども置かれていました。</p>	理解のしやすさ 指導者による補足

22, 23	絵	削除 修正	<p>絵は削除した。「服装の移り変わりを調べよう」については次のように文章化した。</p> <p>ア 狩りや漁のころ 植物のせんでつくったワンピース型の上服を着て、スカート状のまきものをしています。動物の骨や貝でつくったピアスや首飾り、腕輪をしています。シカの皮などを肩からかけて腰を紐でしばって着ることもありました。くつははいていません。</p> <p>イ 米づくりのころ 麻でできたワンピース型の服を着ています。腰は紐でしばっています。靴はまだはいていません。</p> <p>ウ 古墳がつくられたころ 現代の洋服に似ています。袖を通して襟を前で合わせ、腰は紐でしばっていました。女性はスカート、男性はズボンのようなものを着ています。革靴をはいていました。</p>	理解のしやすさ
		本文	修正	「ひろげよう ふかめよう」は巻末に配置した。
24, 25	写真	削除 修正	<p>写真は削除した。以下は次のように文章化した。</p> <p>「大森貝塚の発掘の様子」</p> <p>線路の脇に貝殻の積み重なったがけがあります。発掘の指揮をとる人がおり、指示にしたがって人の手で発掘され運ばれています。</p> <p>「加曾利貝塚の断面」</p> <p>たくさんの貝殻が積み重なっています。</p> <p>「出土したイルカの骨」</p> <p>背骨が連なった形で発掘されました。</p>	理解のしやすさ
		地図	修正	「大森貝塚、加曾利貝塚、真脇遺跡の位置」の三枚の地図は、巻末に「遺跡地図」としてまとめた。「関東地方の貝塚の分布」については点図化した。
26, 27	写真	削除 修正	<p>写真は削除し、以下は次のように文章化した。</p> <p>「登呂遺跡の発掘の様子」</p> <p>たて穴住居の床部分の発掘の様子です。</p> <p>「登呂遺跡から発掘された木製品」</p> <p>木づちや木でできたしゃくし、田げたが発掘されました。</p> <p>「復元された倉庫」については次の文章を加えた。</p> <p>地面から1mほど床が高くつくられています。</p>	理解のしやすさ
		地図	修正	「登呂遺跡の位置」についての二枚の地図は点図化し、巻末に「遺跡地図」としてまとめた。
28, 29	絵 写真	削除 修正	<p>絵と写真は削除し、以下は次のように文章化した。</p> <p>「発掘された古代の道路」</p> <p>道路の両端の溝から溝までは、15人が横に並べるほどでした。</p> <p>「道長の屋敷で開かれたお祝いの会」</p> <p>広い屋敷にたくさんの貴族たちが集まり、美味しく食事をしながら和歌をつくっています。庭に面した廊下では琵琶を演奏している人もいます。</p>	理解のしやすさ 指導者による補足
		年表	削除	「ここで学習する時代」は削除した。

30, 31	絵 写真	削除 修正	絵と写真は削除した。「1 2級に分けられた位」については表として点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	地図	修正	「平城京」の地図は、河川と府県名および境界線を省いて点図化した。	触覚による把握
32, 33	絵 写真	削除 修正	絵と写真は削除し、以下は次のように文章化した。 「復元された農民の住居」 縄文時代とほぼ変わらない、竪穴住居です。 「荷札に使われた木簡」 木を薄く削った物に字が書かれています。	理解のしやすさ 指導者による補足
	地図	削除 修正	「税として納められたおもな産物と、都へ運ぶ日数」の地図は削除し、縦軸に日数、横軸に地域（現在の地域）、おもな産物を整理し、表として点図化した。	理解のしやすさ
34, 35	絵 写真	削除 修正	絵と写真は削除し、以下は次のように文章化した。 「平城京（復元模型）」 宮殿は都の北側中央に置かれました。宮殿からは、はば70mの朱雀大路が南北にのびていました。 「当時のお金」 お金は円形で中心に四角い穴があけられており、「和同開珎」の文字が刻まれています。 「貴族の食事と庶民の食事」 貴族の食事には、白米、魚、汁物、漬物、貝だけでなく、枝豆、栗、みかん、どんぐりなども添えられていました。庶民の食事は、玄米、ひじき、塩でした。	理解のしやすさ
	地図	修正	平城京と現在の奈良市街を示す地図については、上を北にして点図化した。	触覚による把握
36, 37	絵 写真	削除	絵と写真は削除した。	指導者による補足
	地図	修正	「大仏づくりに使われた金属の産出地」については点図化し、金属の種類と産出地を表にして加えた。	触覚による把握 理解のしやすさ
38, 39	写真	削除 修正	写真は削除し、「5本げんのあるびわ」については以下のように文章化し加えた。 らくだに乗った人の模様入り	理解のしやすさ
	地図	修正	「アジアのおもな交通路」については、主要都市を中心に点図化した。	触覚による把握 読み取りは指導者が補足説明するよう配慮する。
40, 41	学び方 教室	修正	「絵画資料の読み取り方」については、以下の箇所を差し替え、巻末に示した。 1. 絵の説明からわかることを書き出す。	理解のしやすさ

	絵	削除 修正	<p>絵は削除し、次は以下のように文章化した。</p> <p>「歌や音楽を楽しむ貴族」巻末の学び方教室「絵画資料の読み取り方」を参考に、以下の絵の説明を読みましょう。</p> <p>「広い宮殿の庭には松やもみじなどが植えられ、人工的な池、橋があります。池の豪華な船の上では太鼓も演奏されています。宮殿は木造で、部屋の周りを低い手すりのついた長い廊下で囲んでいます。部屋と廊下のしきりにはすだれが下がっています。部屋の床は畳ではありませんが、赤い美しい着物を着た人だけが一畳の畳をしいて座っています。部屋には低い机もあります。ほかの人は、廊下に座っており、赤い着物の人の方を向いています。黒い着物を着て、背中に弓を背負っている人もいます。」</p> <p>「道長のむすめ（天皇の後彰子）に中国の詩を教える紫式部」</p> <p>何十にも重ねた色とりどりの着物を着、髪は長く伸ばしています。</p> <p>「漢字からかなへ」については、あ、い、うを取り上げて点図化した。</p>	触覚による把握 理解のしやすさ
42, 43	絵	削除	絵は削除した。	指導者による補足
	学び方 教室	修正	「年表の作り方」については、巻末に示した。	理解のしやすさ
44, 45	11 絵	修正	<p>絵を削除し、「屋敷に攻め入る武士」については、本文11行目を次のように書き換えた。</p> <p>12世紀中ごろの、京都での戦いのようすをえがいた絵があります。弓矢をたずさえ、馬に乗った武士たちが、戦いをくり広げています。</p>	理解のしやすさ 指導者による補足
		年表	「ここで学習する時代」は削除した。	指導者による補足
46, 47	絵 写真	削除 修正	<p>絵と写真は削除し、「壇ノ浦の戦いのようす」については次のように文章化し加えた。</p> <p>海の上に舟を浮かべ、弓矢で戦っています。</p> <p>「13世紀ごろの鎌倉のようす」については真空成形器で作成した。</p>	理解のしやすさ 触覚による把握
		地図	「源氏軍の進んだ道すじ」については点図化し、地図中のおもな戦いについては、凡例とともに一覧にして示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
48, 49	絵 写真	削除 修正	<p>絵と写真は削除し「ご恩と奉公の関係」については、次の文章を加え点図化した。</p> <p>将軍と御家人は、ご恩と奉公によって主従関係を結びました。</p> <p>「武士のやかた」については次のように文章化して加えた。</p> <p>門の上には物見やぐらがあり家来が見張りをしています。やかたには、主人のすむところの他、畑や馬屋がありました。やかたの周囲には馬のけいこ場や、矢場という弓矢のけいこ場がありました。</p>	理解のしやすさ 触覚による把握
50, 51	絵 写真	削除	絵と写真は削除した。	指導者による補足

	地図	修正	「元軍の進路」については二度の進路をまとめて点図化した。地図中の「元軍のようす」は凡例と合わせて示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
52, 53	絵 写真	削除 修正	絵と写真は削除し、以下は次のように文章化し加えた。 「遣明船」 帆で風を受けて進む船です。甲板に畳敷きの部屋が設けられています。 「祇園祭りのようす」 大きな船をかたどった山車や神輿が町中を練り歩いています。	理解のしやすさ 触覚による把握
	学び方 教室	修正	「年表のつくり方」については、巻末に示した。	理解のしやすさ
54, 55	絵 写真	削除 修正	絵と写真は削除し、以下は次のように文章化した 「水車の利用や、牛や馬を使った農業のようす」 田のわきに水路がめぐらされ、水路からの水を水車を使って田に引き入れています。くわなどを使って人がしろかきをしているほか、牛にすきをひかせて田おこしをしている人もいます。 「大内ぬり」 漆器のひとつです。深みのある朱色を塗った丸い盆に、植物の模様が描かれています。	理解のしやすさ
56, 57	絵 写真	削除 修正	絵と写真は削除し、以下は次のように文章化した。 「書院造の部屋」 部屋には、たたみがしきつめられ、部屋と部屋の間は、板の戸ではなく、障子やふすまで仕切られるようになりました。床の間には本箱やちがひ棚などもつくられるようになりました。 「雪舟のえがいた水墨画」 すどく力強い線のりんかくに、墨をこくうすく塗り分けて風景を描きました。 「現代の能」 能面といわれるお面をつけて、鼓や笛の音楽を背景に踊っています。	理解のしやすさ
58, 59	絵 写真	削除	絵と写真は削除した。	指導者による補足
60, 61	絵 写真	削除	絵と写真は削除した。	指導者による補足
	地図	修正	「各地で力をたくわえていたおもな大名」については点図化した。	触覚による把握
62, 63	絵 写真	削除 修正	絵と写真は削除し、以下は次のように文章化した。 「長篠の戦い」 合戦図の左側に織田軍が描かれており、豊臣秀吉や徳川家康もいます。右側には武田軍の騎馬隊が描かれています。 発砲によって黒煙が上がり、武田軍の騎馬隊が倒れている様子が描かれています。 「当時の鉄砲」 火縄銃です。	理解のしやすさ 指導者による補足

	コラム	修正	<p>「外国との貿易」の4行目を次のように書き換えた。</p> <p>この貿易で、いろいろなものが日本に伝えられ、「ヨーロッパから日本に伝わったもの」については、次のように文章を修正した。</p> <p>いまの日本語で何というか、ローマ字読みを参考に考えましょう。</p>	理解のしやすさ
64, 65	絵 写真	削除 修正	<p>絵と写真は削除し、「安土城と城下町」については以下のように文章化し加えた。</p> <p>天守閣は47mほどもありました。天守閣周辺には家来たちのすむ住居があり、濠の外側には商人たちの住居も並んでいました。</p>	理解のしやすさ
	先生	修正	<p>先生の言葉を次のように修正した。</p> <p>次の地図で、1560年ごろと1582年頃の信長の勢力を比べてみましょう。どのように広がっていますか。</p>	理解のしやすさ
	地図	修正	<p>「信長の勢力の広がり」は点図化し、おもな戦いについては一覽にし凡例に示した。</p> <p>「交通路としての琵琶湖」は点図化した。</p>	触覚による把握
66, 67	絵 写真	削除 修正	<p>絵と写真は削除し、以下は次のように文章化した。</p> <p>「検地のようす」</p> <p>田のあぜに何人もの役人たちが長い棒を持って立っています。棒と棒の間に検地尺をもとにして目盛りをつけた縄をはり、田の面積をはかっています。</p> <p>「ものさしとます」</p> <p>ものさしの表の両端に印がつけられ、その間は一尺です。</p>	理解のしやすさ
68, 69	絵 写真	削除	絵と写真は削除した。	指導者による補足
	地図	修正	「江戸のまちの広がり」については点図化した。	触覚による把握
70, 71	絵 写真	削除	絵と写真は削除した。	指導者による補足
	学び方 教室	修正	「討論会の開き方」については、巻末に示した。	理解のしやすさ
72, 73	写真	削除	写真は削除した。	指導者による補足
	地図	修正	<p>「紀伊半島の位置」の地図は巻末に示した。</p> <p>「紀伊山地の霊場と参詣道」については点図化した。</p>	触覚による把握 理解のしやすさ

74, 75	絵 写真	削除 修正	<p>絵と写真は削除し、「姫路城の天守閣」については次のように文章化し加筆した。</p> <p>城の中央にある建物で、姫路城は6階建てです。</p> <p>「城づくりの移り変わり」については以下のように文章化した。</p> <p>ア. 山城（岐阜城や鳥取城） 山の地形を利用してつくられました。城の入り口に土盛り（自然の土や石で高くすること）や、建物の周囲に空堀（水のない堀）をし、敵の侵入を防ぎました。</p> <p>イ. 平山城（姫路城や江戸城） 平野の中の丘などにつくられました。城の周囲を石垣で囲い、さらに堀をめぐるしました。</p> <p>ウ. 平城（大阪城や松本城） 平地につくられました。土や石でへいをつくり、さらに堀をめぐるしました。</p> <p>G. （写真）姫路城の全体像 うずまき状の縄張りになっています。</p>	理解のしやすさ
	地図	修正	<p>「姫路市の位置」を示す二つの地図は巻末の地図にまとめた。</p> <p>「姫路城の縄張り」については、点図化した。</p>	触覚による把握 理解のしやすさ

学年	ページ	行	修正 事項	修正内容	備考																								
6上	76	絵	削除	絵は削除したが、本分の後に以下の順序で、 「絵 徳川家光 (1604~1651)」に「の肖像」を付加 「絵 将軍にあいさつする大名たち」とし、説明の 後に <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 将軍は黒、上位の大名は赤、さらに緑などの服を着 ている人もいます。 </div> と加筆した。	理解のしやすさ																								
	77	絵 1~2	削除	絵と説明は削除、 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 19世紀はじめごろの、江戸の芝居小屋のようすを えがいた絵があります。はなやかに歌舞伎がえんじ られ、観客は大入り満員です。 </div> と書き換えた。	理解のしやすさ																								
	78~79	絵	削除	「絵 金沢藩 (石川県) の大名行列」として、の説明 の後に、 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 絵によると、やりをもつ足軽_交代要員_ともの侍 _馬にのる侍_鉄砲をもった足軽_交代要員_弾薬 などをもつ足軽_馬にのる侍_金庫・旅行用品など をもつ足軽_ともの侍_長刀をかつぐ足軽_ともの 侍_馬にのる大名 (藩主)_ともの侍_大名の乗 り物 (かご) をかつぐ足軽_長やりをもつ足軽_雨 がっぱ・弁当・かぶと・よろいなどを運ぶ人びとが えがかれています。」 </div> と文章化した。	理解のしやすさ																								
	79	グラフ 地図	削除	円グラフは削除し、数値を一覧表にした。 地図は、おもな大名を減らして点図とし、以下の一覧 表をつけた。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tbody> <tr> <td rowspan="5">親藩</td> <td>徳川 (茨城県)</td> <td>24万石</td> </tr> <tr> <td>徳川 (愛知県)</td> <td>62万石</td> </tr> <tr> <td>徳川 (和歌山県)</td> <td>54万石</td> </tr> <tr> <td>松平 (福井県)</td> <td>45万石</td> </tr> <tr> <td>松平 (島根県)</td> <td>19万石</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">譜代</td> <td>井伊 (滋賀県)</td> <td>30万石</td> </tr> <tr> <td>本多 (奈良県)</td> <td>15万石</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">外様</td> <td>佐竹 (秋田県)</td> <td>21万石</td> </tr> <tr> <td>伊達 (宮城県)</td> <td>56万石</td> </tr> <tr> <td>前田 (石川県)</td> <td>103万石</td> </tr> <tr> <td>藤堂 (三重県)</td> <td>32万石</td> </tr> </tbody> </table> </div>	親藩	徳川 (茨城県)	24万石	徳川 (愛知県)	62万石	徳川 (和歌山県)	54万石	松平 (福井県)	45万石	松平 (島根県)	19万石	譜代	井伊 (滋賀県)	30万石	本多 (奈良県)	15万石	外様	佐竹 (秋田県)	21万石	伊達 (宮城県)	56万石	前田 (石川県)	103万石	藤堂 (三重県)	32万石
親藩	徳川 (茨城県)	24万石																											
	徳川 (愛知県)	62万石																											
	徳川 (和歌山県)	54万石																											
	松平 (福井県)	45万石																											
	松平 (島根県)	19万石																											
譜代	井伊 (滋賀県)	30万石																											
	本多 (奈良県)	15万石																											
外様	佐竹 (秋田県)	21万石																											
	伊達 (宮城県)	56万石																											
	前田 (石川県)	103万石																											
	藤堂 (三重県)	32万石																											

			<p>池田 (岡山県) 32万石 毛利 (山口県) 37万石 黒田 (福岡県) 43万石 島津 (鹿児島県) 73万石</p>	
81	絵	削除	<p>絵は削除し、説明の後に、</p> <p>絵は、大名の家来が見守り、村の役人が立ち会う中で農民が俵の米を出して米を升ではかっているところです。</p> <p>と加筆した。</p>	理解のしやすさ
	グラフ	修正	<p>円グラフを点図化し、数値を表にして並べた。</p>	触覚による把握 理解のしやすさ
82	絵	削除	<p>絵は削除し、説明の後に</p> <p>役人が見守る中、ひとりひとりふみ絵をふまされています。</p> <p>と加筆した。</p>	理解のしやすさ
84	グラフ	削除	<p>棒グラフは数表化した。</p>	理解のしやすさ
	絵	削除	<p>絵は削除し、</p> <p>「絵 江戸時代の農業技術の改良」として、</p> <p>とうみ・千歯こき・からさおを使った農作業のようすがかかれています。</p> <p>と加筆した。</p>	理解のしやすさ
85	写真 絵	削除	<p>写真と絵は削除し、次のように一覧表にした。</p> <p>(1) 写真 (紅花) 絵 (紅花から紅をつくる) (2) 写真 (焼き物) 絵 (唐津焼をつくる) (3) 写真 (茶の葉) 絵 (茶をつくる) (4) 写真 (綿の実) 絵 (河内木綿の売り買い)</p>	理解のしやすさ
	地図	削除	<p>点図化した。</p>	触覚による把握
91	学防 教室	修正	<p>「川柳のつくり方」は巻末に示した。</p>	理解のしやすさ
92~95	ひらばよう ふかめよう	修正	<p>「流路をつけかえた大和川」「塩づくり」は巻末にまとめた。</p>	理解のしやすさ
96	絵	削除	<p>「絵 条約を結ぶために上陸する、ペリーの一行 (1854年)」として、次のように文章化した。</p> <p>ペリーが2度目に来航したときのようすです。ペリーは、沖に見える7隻の艦隊で来航し、神奈川県横浜沖に停泊し、500人も兵隊を引き連れて上陸しました。左側に描かれている建物の中で条約についての話し合いが行われました。</p>	理解のしやすさ

98	絵 地図	削除	絵と地図は削除し、次のような一覧表にして示した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> ア、京都 岩倉具視（1825～1883年 写真） イ、長州 木戸孝允（1833～1877年 絵） ウ、高杉晋作（1839～1867年 絵） エ、薩摩 大久保利通（1830～1878年 絵） オ、西郷隆盛（1827～1877年 絵） カ、土佐 坂本龍馬（1835～1867年 写真） キ、江戸 勝海舟（1823～1899年 絵） 薩摩と長州は薩長同盟を結んだ。 </div>	理解のしやすさ
	グラフ	修正	縦軸横軸は減らして点図化した。	触覚による把握
100	絵	削除	絵は削除し、「絵 五か条のご誓文の朗読」として、説明の最後に「右側に白い衣装を着た明治天皇が座っています。」と加筆した。	理解のしやすさ
101	グラフ	削除	円グラフと棒グラフは削除し、数値を並べてそれぞれ一覧表にした。	理解のしやすさ
	絵	削除	絵は削除し、説明文の前に「多くの人に見送られて、岩倉具視、大久保利通、木戸孝允らをのせた」と加筆した。	理解のしやすさ
102	絵	削除	絵は削除し、説明文の前に「さまざまな人々をはかりにかけて同じ重さであることをえがき」と加筆した。	理解のしやすさ
103	グラフ	削除	円グラフは削除し、数字を一覧表にした。	理解のしやすさ
	絵	削除	絵は削除し、「絵 開拓のようす」に「うしろに開拓村がえがかれ、前方で畑を耕しています。」と加筆した。	理解のしやすさ
104	絵	削除	絵は削除し、「絵 明治時代のはじめごろの東京・銀座のようす」として、 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> れんがづくりの建物がならび、新聞社もあります。道ではガス灯がともし、鉄道馬車や人力車が走っています。マントをはおった人やこうもりがさをさした人もいます。 </div> と文章化した。	理解のしやすさ
	写真	削除	写真は消去し、「受話器の部分が、耳と口に当てる部分で分かれています。」と加筆した。	理解のしやすさ
	グラフ	修正	横軸縦軸を簡略化し、点図化した。また事項は次のように年表化した。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 1873（明治5）年 学制を定める 1886（明治18）年 義務教育が4か年となる 1907（明治39）年 義務教育が6か年となる </div>	理解のしやすさ
105	絵	削除	絵は削除し、「絵 小学校の授業のようす」として	理解のしやすさ

			「88ページの……」を「先生がアイウエオの50音図をさしています。生徒は座席に座って、それを復唱しています。」に書き換えた。	
107	絵	削除	絵を削除し、「絵 帝国議会のような様子」の説明の後に、 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 絵の左側には議長席があり、その後に明治天皇がいます。2階は傍聴席になっていて、大勢の傍聴人がいるなか女性も数人えがかれています。 </div> と加筆した。	理解のしやすさ
108	絵	削除	絵を削除し、「絵 日清戦争のような様子」に「負傷兵を助けながら戦っているようすです。」と加筆した。	理解のしやすさ
	絵	削除	絵を削除し、「絵 下関（山口県）での講和会議」として、「日清戦争の講和会議が下関で開かれました。日本側の代表と中国側の代表が席について話し合っているところす。」を加筆した。	理解のしやすさ
	グラフ	削除	「賠償金の使い道」の円グラフは削除し、数値を一覧表にした。	触覚による把握
	グラフ	削除	「日清戦争と日露戦争の比較」の棒グラフは削除し、数値を表にした。	触覚による把握
109	写真	削除	写真を削除し、「写真 ポーツマス（アメリカ）での講和会議」として、説明文の前に「日露戦争の講和会議の写真です。」を加筆した。	理解のしやすさ
	地図	修正	「地図 おもな戦場」は情報を簡略化し、点図化した。	触覚による把握
110	写真	削除	写真を削除し、「写真 かつての八幡製鉄所」として、説明の後に「高炉には（1901）と大きく記されていて、操業をはじめた年を示しています。」と加筆した。	理解のしやすさ
	グラフ	修正	点図化した。	触覚による把握
115	3	修正	西洋音楽の普及、明治の軍歌や唱歌、滝廉太郎の曲など、音や音楽を録音してまとめることもできると加筆した。	指導者による補足
91 115	学び 教室	修正	「学び方教室」として以下の三つを第2巻巻末にまとめた。 (1) 川柳の作り方 (2) 人物カードの作り方 (3) 紙芝居の作り方	理解のしやすさ
92~95	ひろげよう ふかめよう	修正	「ひろげよう ふかめよう」として以下の二つを巻末にまとめた。 (1) 流路をつげかえた大和川 (2) 塩づくり	理解のしやすさ
92	写真	削除	「写真 大和川の流れる大阪平野」は削除した。	指導者による補足
	地図	修正	「地図 大和川の位置」は大阪府の地図はここに点図	触覚による把握

			化した。日本地図における位置は巻末にまとめて点図化した。																					
93	地図	修正	「地図 大和川のむかしといま」は簡略化して点図化した。	触覚による把握																				
94	地図	修正	「地図 兵庫県赤穂市と山口県防府市の位置」は巻末の日本地図でまとめて、大阪・赤穂市・三田尻の位置を示した。	触覚による把握																				
	図	削除	「入浜式塩田のしくみ」の図は削除し、説明文のみ示した。	指導者による補足																				
116	写真	削除	写真は削除したが、「写真 当時のメニュー」として <table border="1" data-bbox="502 645 1093 1108"> <tr><td colspan="2">三越食堂定価表</td></tr> <tr><td>ビフテキ（ご飯付）</td><td>金50銭</td></tr> <tr><td>牛肉弁当</td><td>金50銭</td></tr> <tr><td>ランチ（パン果物コーヒー付）</td><td>金50銭</td></tr> <tr><td>カレーライス</td><td>金30銭</td></tr> <tr><td>鰻蒲焼き（ご飯付）</td><td>金1円</td></tr> <tr><td>日本食</td><td>金80銭</td></tr> <tr><td colspan="2" style="text-align: center;">（中略）</td></tr> <tr><td>サンドウィッチ</td><td>金30銭</td></tr> <tr><td>稲荷ずし</td><td>金15銭</td></tr> </table> を示した。	三越食堂定価表		ビフテキ（ご飯付）	金50銭	牛肉弁当	金50銭	ランチ（パン果物コーヒー付）	金50銭	カレーライス	金30銭	鰻蒲焼き（ご飯付）	金1円	日本食	金80銭	（中略）		サンドウィッチ	金30銭	稲荷ずし	金15銭	理解のしやすさ 指導者による補足
三越食堂定価表																								
ビフテキ（ご飯付）	金50銭																							
牛肉弁当	金50銭																							
ランチ（パン果物コーヒー付）	金50銭																							
カレーライス	金30銭																							
鰻蒲焼き（ご飯付）	金1円																							
日本食	金80銭																							
（中略）																								
サンドウィッチ	金30銭																							
稲荷ずし	金15銭																							
117	写真	削除	写真は削除したが、「写真 原爆によって廃墟となった広島市（1945年）」として、説明文の前に、「中央に、一人の男の人が壊れた建物を見てたっています。その」建物は、「原爆ドーム」として、・・・と加筆した。	理解のしやすさ																				
118	絵	削除	絵は削除したが、「絵 名古屋（愛知県）でおきた米騒動のようす」として、 <table border="1" data-bbox="502 1473 1093 1617"> <tr><td>右側から警官が剣をぬいて民衆に向かっています。大勢の人びとは棒を以てさげんだり、逃げまどったりしています。</td></tr> </table> と加筆した。	右側から警官が剣をぬいて民衆に向かっています。大勢の人びとは棒を以てさげんだり、逃げまどったりしています。	理解のしやすさ																			
右側から警官が剣をぬいて民衆に向かっています。大勢の人びとは棒を以てさげんだり、逃げまどったりしています。																								
120	絵	削除	絵は削除したが、「絵 関東大震災による日本橋付近の被害のようす」として、 <table border="1" data-bbox="502 1751 1093 1848"> <tr><td>火事のため空は炎と煙におおわれています。多くの避難民が逃げまどっています。</td></tr> </table> と加筆した。	火事のため空は炎と煙におおわれています。多くの避難民が逃げまどっています。	理解のしやすさ																			
火事のため空は炎と煙におおわれています。多くの避難民が逃げまどっています。																								
121	グラフ	修正	棒グラフ「日本での失業者の増加」を点図化した。	触覚による把握																				
122	写真	削除	写真は削除したが、「写真（朝鮮へ 満州へ）と大陸への旅行をよびかけるポスター」と（ ）を加筆した。	理解のしやすさ																				

123	地図	修正	「日本と中国との戦争」は情報を簡略化して点図化した。	触覚による把握
124	写真	削除	写真は削除したが、説明文を「写真 日本海軍の飛行機が攻撃され、(炎をあげる) 真珠湾のアメリカの軍艦と()内を加筆した。	理解のしやすさ
	写真	削除	「戦争の開始を報じる新聞記事」は削除したが、説明文の冒頭に <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 帝国米英に宣戦を布告す 西太平洋に戦闘開始 </div> の見出しがあります。 と加筆した。	理解のしやすさ
	地図	修正	「地図 戦場となった、アジアと太平洋の地域」は情報を簡略化して点図化した。地図は日本軍が最も広がった線のみ 地域名は精選した。	触覚による把握
	写真	削除	写真は削除したが、「写真 東南アジアでの日本語教育の普及を伝える写真新聞(1942年)」として、 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 「大東亜文化の建設 ミナミへノビルニッポンゴ」 </div> の見出しがあります。 と加筆した。	理解のしやすさ
126	写真	削除	写真は削除したが、「写真 せいたくをいましめる街頭の看板」として、 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 「日本人ならせいたくは出来ないはずだ」と書いてあります。 </div> と加筆した。	理解のしやすさ
	写真	削除	写真は削除したが、「写真 配給」の説明の後に、 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 写真では、マッチ、清酒、木炭、砂糖、飼料、肥料が書かれています。 </div> と加筆した。	理解のしやすさ
128	絵	削除	絵は削除したが、「絵 東京大空襲のようす」として、 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 空襲を受けて、防空ずきんをかぶり子どもの手を引いて避難する人、消火にあたる人が描かれています。 </div> を加筆した。	理解のしやすさ
129	地図	修正	「空襲を受けたおもな都市とその被害」は、「空襲による死者数」は、1万人以上とその他の2種類にして点図化した。	触覚による把握
	写真	削除	写真は削除したが、「写真 大阪での空襲による被害のようす」として、「建物も破壊され、後方でまた煙が上がっています」と加筆した。	理解のしやすさ
	写真	削除	写真は削除したが、「写真 姫路(兵庫県)での空襲による被害のようす(→7ページ)」として、「道路の両脇が破壊され、遠くに無事だった姫路城が見えます。」	理解のしやすさ

			と加筆した。	
131	学防 教室	修正	④について、「墨字の新聞では、」を冒頭に入れた。 ⑥で、「点字の場合の工夫を考えてみよう。」をいれた。 「学び方教室は」巻末にまとめた。	理解のしやすさ
132	写真	削除	写真を削除したが、「写真 終戦直後の東京都千代田区 神田付近」として、 建物ほとんど焼けて壊され、いちめんの焼け野原 になっています。遠くに焼け残ったビルや煙突がい くつかあります。 と加筆した。	理解のしやすさ
	写真	削除	写真を削除したが、「写真 「お帰りのさいお父さん」 として、 戦地から帰ったばかりのお父さんが、家のそばの道 ばたで軍服を着て家族に敬礼している写真です。 と加筆した。	理解のしやすさ
134	写真	削除	写真を削除したが、「写真 戦争が終わった直後の池袋 (東京都豊島区、復元模型)」として、 やみ市のようなすを人形などで復元しています。中華 料理、すし、とんかつ・てんぷら、げた・かさ、花 などの店が並んでいます。 と加筆した。	理解のしやすさ
136	写真	削除	写真を削除したが、「写真 戦後はじめての選挙での投 票のようす」として、「もんぺ姿や和服の女性が投票し ています。」と加筆した。	理解のしやすさ
	グラフ	削除	棒グラフを削除したが、「選挙権の拡大」は年表の形で 数値を並べた。	理解のしやすさ
137	写真	削除	写真を削除したが、「写真 日本国憲法の平和主義」と して、説明の中に「さし絵には「戦争放棄」と大きく 書かれ」と加筆挿入した。	理解のしやすさ
140	写真	削除	写真を削除したが、「写真 万国博覧会のようす (大阪 府)」として、説明文に 写真は、太陽の塔を中心とする広場を上から写した もの と加筆した。	理解のしやすさ
141	写真	削除	写真を削除したが、「写真 工場の煙による大気汚染 (三 重県四日市市)」として、「写真は、マスクをして集団 登校する子どもたち。」と加筆挿入した。	理解のしやすさ
142	グラフ	削除	「日本の年齢別人口の割合の移り変わり」の棒グラフ は削除したが、数値を並べて表に表した。	理解のしやすさ
	グラフ	修正	「日本に住む外国人の数の移り変わり」の棒グラフは、	

			棒を3本に減らし、外国人の全体数の移り変わりのグラフとした。	触覚による把握
145	学防 教室	修正	「本のつくり方」は、⑭に、「点字の本の場合の工夫を考えてみよう。」をいれた。 また巻末に、 (1) 歴史新聞のつくり方 (2) 本のつくり方 とまとめた。	理解のしやすさ
146	地図	修正	「沖縄県沖縄島」「沖縄島の位置」の地図は、点図化した。	触覚による把握
	写真	削除	写真は削除したが、「写真 沖縄に上陸したアメリカ軍」として、 洞窟などを銃を構えて取り囲み、火炎放射器を使って焼き払っています。 と加筆した。	理解のしやすさ
	グラフ	修正	「自動車の普及率」は点図化した。	触覚による把握
150	学防 教室	削除	「学び方教室」の目次は、巻頭の目次に示したので削除した。	理解のしやすさ
151	図	修正	「紀元前と紀元後 世紀」を表した図は、点図化した。	触覚による把握
153~ 157	年表		①太字は「 」で表した。 ②年代はすべて左にそろえて出した。 ③世界のおもなできごとは()内に入れた。 ④絵は省略した。	理解のしやすさ
159~ 162	世界文化 遺産 近代化遺産	修正	写真は削除したが、一覧表にした。日本地図はそれぞれ点図化した。	理解のしやすさ 触覚による把握

学年	ページ	行	修正事項	修正内容	備考
6年 下	見開き	目次	修正 挿入	小単元に番号を付けて、目次に挿入した。 教科書で扱う4つの国について一つの世界地図の中に まとめ巻末に提示した。	理解のしやすさ
	4	地図	修正	東京都と東京都足立区の位置を点図化し、足立区の位置 については東京都の近隣の県も表示した。	触覚による把握
	4～ 5	写真 図	削除 修正	写真と子育てサロンの間取りの図を削除し、文章化した 。	指導者による補足
	6～ 7	図	削除 修正	イラストを削除し、1～7までを文章化した。	指導者による補足
	7	地図	修正	「子育てサロンのあるところ」の地図を一部修正し、点 図化した。	触覚による把握
	8	図	削除 修正	「区の仕事を進めるおもなしくみ」の図を削除し、羅列 して表した。	理解のしやすさ
	8	グラフ	修正	「支援センターをつくる費用の内訳」のグラフを一部 修正し、点図化した。	触覚による把握
	8	グラフ	削除 修正	「支援センターの運営費の内訳」の円グラフを削除し数 値化した。	理解のしやすさ
	9	グラフ	修正	「足立区の予算の使われ方」のグラフを一部修正し、点 図化した。	触覚による把握
	9	写真	削除 修正	「足立区の広報誌」の記事の中身の読み取りが困難なた め削除し、タイトルを生かした。	指導者による補足
	10	図	削除 修正	「税金のしくみ」の図のイラストを削除し、文章のみを 示した。	指導者による補足
	11	図	削除 修正	「選挙の流れ」の図を削除し、文章のみを提示した。	指導者による補足
	11	グラフ	削除 修正	「国民の願い」のグラフは要素が多すぎるため削除し、 数値化した。	理解のしやすさ
	12	図	修正	「法律ができるまで」の図を一部修正し、点図化した。	触覚による把握 指導者による補足
	12	グラフ	削除 修正	「国の収入と支出」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	14	図	削除 修正	「国に政治を進める組織と」そこで分担している仕事の 例」の図を削除し、語句を羅列した。	理解のしやすさ
	15	写真	削除 修正	写真を削除し、説明文を修正した。	指導者による補足
	16	図	修正	「裁判を公正にするしくみ」の図を点図化した。	触覚による把握
	17	図	修正	「三権分立のしくみ」の図を一部修正し、点図化した。	触覚による把握
	19	5 図	削除 修正	本文を削除修正し、リーフレットで示された図を点字お よび点図でまとめた。	触覚による把握 理解のしやすさ
	21	図	修正	「日本国憲法の三大原則」を点図化した。	触覚による把握
	21	写真	削除 修正	「憲法違反を問題にした裁判について伝える新聞記事」 の写真を削除し、タイトルを生かした。	指導者による補足
22	グラフ	削除 修正	「選挙の投票率」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ	

6年 下	23	図	削除 修正	「国民主権」の図のイラストを削除し、点図化した。	触覚による把握
	24	イラスト	削除 修正	「国民の基本的人権」のイラストを削除し、文章のみを提示した。	指導者による補足
	24	写真	削除 修正	ポスターの中身の読み取りが困難なため削除し、内容を文章化した。	指導者による補足
	25	イラスト	削除 修正	「国民の三つの義務」のイラストを削除し、文章のみを提示した。	理解のしやすさ
	29	イラスト	削除 修正	「非核三原則」のイラストを削除し、文章のみを提示した。	指導者による補足
	31	本文	修正	(わたしの意見)の部分を、「自分の意見を発表しましょう。」と修正した。	児童が授業に参加しやすいようにするため。
	35	グラフ	削除 修正	「ホームヘルパー利用者の増加」のグラフは削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	38	図	修正	「世界の主な国の国旗」を点図化し、単元学習に入る前に提示した。	理解のしやすさ 触覚による把握
	39	グラフ	削除 修正	「日本からの輸出額の多い国や地域」「日本人の海外旅行先」を削除し数値化した。	理解のしやすさ
	40 44 48 52	地図	修正	「日本とアメリカ、中国、ブラジル、エジプト」を見開き1枚の地図にまとめ、分冊巻頭目次あとに提示した。	理解のしやすさ
	40 44 48 52	図	削除	アメリカ、中国、ブラジル、エジプトの国旗を削除し、提示してあるページの指示とした。	理解のしやすさ
	41	グラフ	削除 修正	「日本とアメリカとの貿易」のグラフを削除し数値化した。	理解のしやすさ
	45	グラフ	削除 修正	「中国の輸出にみる工業の発展」のグラフを削除し数値化した。	理解のしやすさ
	49	グラフ	削除 修正	「日本に住む外国人の国籍の割合」のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	54	図	修正	「アラビア語の数字」のアラビア文字を点図化した。	触覚による把握
	58	吹き出し	修正	吹き出しの文章を「写真資料1, 2, 3の国は…」と修正した。	指導者による補足
	59	地図	修正	「世界の環境問題」の地図を一部修正し、点図化した。	触覚による把握
	60	図	修正	「国連の旗」を点図化した。	触覚による把握
	61	図	修正	「国連のしくみ」の図を点図化した。	触覚による把握
	61	グラフ	削除 修正	「国連事務局の、国籍別の職員の数」の人型のグラフを削除し、数値化した。	理解のしやすさ
	61	グラフ	削除 修正	「国連の費用の分担割合」のグラフを削除し数値化した。	理解のしやすさ
	62	図	修正	「5歳までになくなる子どもの数」の人型の図を削除し数値化した。	理解のしやすさ
	63	図	修正	「わたしたちの募金の流れ」の図を点図化した。	触覚による把握

6年 下	6 3	図	削除 修正	「100円でできること」のイラストを削除し、文章のみを提示した。	指導者による補足
	6 4	グラフ	削除 修正	「政府開発援助の相手国の割合」のグラフを削除し数値化した。	理解のしやすさ
	6 5	地図 グラフ	削除 修正	「青年海外協力隊の派遣国と、協力している仕事」の地図は削除し、グラフは数値化した。また、説明文として写真資料の説明と合わせて提示した。	理解のしやすさ
	7 2	写真	削除 修正	「イラクからの脱出を伝える新聞」の写真を削除し、タイトルを生かした。	指導者による補足
	7 2	地図	修正	和歌山県と和歌山県大島の位置を点図化し、大島の位置については和歌山県の近隣の県も表示した。	触覚に夜把握 理解のしやすさ
	7 4	資料	修正	「左の写真の機械を…」を「地雷を除去する機械を…」に修正した。	理解のしやすさ

3 参考資料

資料1 『この教科書を使うみなさんへ』

数1

このきょうかしょをつかうみなさんへ。

数1。がくしゅーのながれ
がくしゅーもんだいをつかむ、しらべる、
まとめる、までがひとつのながれです。これを
くりかえしていきます。

数1。がくしゅーもんだい
がくしゅーのまとまりごとにもんだいを
つかみます。

数2。ねらい
もんだいかいけつえのしらべをすすめる
うえでのねらいです。

数3。まとめのことば
しらべてわかったことをまとめます。

数2

数2。がくしゅーのてだすけ
がくしゅーをすすめるうえでやくだちます。

数1。まなびかたきょうしつ
まなびかたやしらべかたのほいんとをしめして
います。かんまつにのせています。

数2。ことばのまど
よごなどについてわかりやすくせつめいして
います。

数3。はーとのまーく
どーとくとのつながりをしめして
います。ほんぶんちゅーでわはーととあらわします。



数3。ひろげよーふかめよー

きよーみやかんしんにおーじて、じかんに

ゆとりがあれぼとりくんでみるペーじです。

かんまつにのせています。



数3

数4。がくしゅーのみちあんない

せんせい..がくしゅーのさぼーとをする

やくわりです。

みな..いろいろなことをしりたいし、みて

みたいな。

たろー..かんがえることがとくいだよ。

かな..しゃしんやしりよーをみるのが

すきな。

さとり..しっていることやわかったことを

つたえるよ。

ねこのまーく..みんなでかんがえて

みましょー..ほんぶんちゅーでわねこと

あらわします。

り~~~~~ろ

